

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

GFX 50s

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるよう に大切に保管してください。

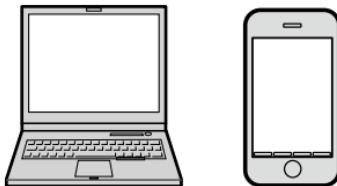
最新情報について

本製品の最新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。



📖 章目次

メニュー一覧

iv

1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	23
3 基本的な撮影と再生	39
4 動画の撮影と再生	45
5 撮影に関する設定	51
6 撮影メニュー	85
7 画像の再生と再生メニュー	119
8 セットアップメニュー	145
9 ショートカット機能	175
10 オプション品・外部機器の使い方	187
11 他機器との接続	207
12 資料	217

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (図 85)。

 1	画質設定		
	画像サイズ	86	
	画質モード	87	
	RAW 記録方式	87	
	フィルムシミュレーション	88	
	グレイン・エフェクト	89	
	カラークローム・エフェクト	89	
	ダイナミックレンジ	89	
ホワイトバランス	90		
	ハイライトトーン	93	
	シャドウトーン	93	
	カラー	93	
	シャープネス	93	
	ノイズリダクション	94	
	長秒時ノイズ低減	94	
	点像復元処理	94	
	色空間	94	
	ピクセルマッピング	95	
	カスタム選択	95	
	カスタム登録 / 編集	96	
  2	フォーカス設定		
	フォーカスエリア選択	97	
	AF モード	97	
	縦 / 横位置 AF モード切替	98	
	AF スピードアップ	98	
	AF ポイント表示 	98	
	フォーカス点数切り替え	99	
	プリ AF	99	
	顔検出 / 瞳 AF 設定	100	
	AF+MF	101	
	MF アシスト	101	
フォーカスチェック	102		
測光 & フォーカスエリア連動	102		
ワンブッシュ AF 時の動作	102		
被写界深度スケール	103		
レリーズ優先 / フォーカス優先	103		
タッチパネルモード	103		

■ 撮影設定	
セルフタイマー	104
セルフタイマー設定保持	104
インターバルタイマー撮影	105
AE ブラケティング設定	106
フィルムシミュレーション BKT	106
測光	107
シャッター方式	108
ブレ防止モード	109
感度 AUTO 設定	109
マウントアダプター設定	110
ワイヤレス通信	112

1/2

2/2

■ フラッシュ設定	
フラッシュ機能設定	113
赤目補正	113
TTL-LOCK モード	114
LED ライト設定	114
MASTER 設定	115
CH 設定	115

■ 動画設定	
動画モード	116
動画 AF モード	116
HDMI 出力情報表示	117
HDMI レックコントロール	117
マイクレベル設定	117

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (図 126)。

■ 再生メニュー	
スロット切り替え	126
RAW 現像	127
消去	129
トリミング	131
リサイズ	132
プロテクト	133
画像回転	134
赤目補正	135

1/2

■ 再生メニュー	
ボイスメモ設定	136
画像コピー	137
ワイヤレス通信	138
フォトブックアシスト	139
プリント予約 (DPOF)	141
instax プリンタープリント	142
表示比率	143

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (図 145)。

 基本設定		 表示設定	
フォーマット	146	EVF 明るさ	153
日時設定	147	EVF 鮮やかさ	153
世界時計	147	LCD 明るさ	153
言語/LANG.	148	LCD 鮮やかさ	153
マイメニュー設定	148	撮影画像表示	154
センサークリーニング	149	縦横自動回転表示	154
バッテリー劣化度	149	マニュアル時モニター露出 /WB 反映	155
リセット	150	モニター撮影効果反映	155
 音設定		 2^{1/2}	
AF 合焦音量	151	フレーミングガイド	156
セルフタイマー音量	151	縦横自動回転再生	157
操作音量	151	距離指標の単位	157
ヘッドホン音量	152	画面のカスタマイズ	158
シャッター音量	152	サブ液晶モニター設定	159
シャッター音	152		
再生音量	152		

操作ボタン・ダイヤル設定		
1/2	フォーカスレバー設定	160
	クリックメニュー登録 / 編集	161
	ファンクション (Fn) 設定	162
	セレクターボタン設定	164
	コマンドダイヤル設定	164
	半押し AF	164
	半押し AE	165
	レンズなしレリーズ	165
消費電力設定		
2/2	フォーカスリング	165
	AE/AF-LOCK 設定	165
	露出補正ボタン設定	166
タッチパネル設定	166	
ロック	166	
保存設定		
コマ NO.		169
処理前画像記録		170
ファイル名編集		170
カードスロット設定 (静止画記録)		170
スロット切り替え (順次記録時)		170
動画記録先		171
著作権情報		171
接続設定		
ワイヤレス設定		172
PC 接続設定		173
位置情報設定		173
instax プリンター接続設定		173
PC 撮影モード		174



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	v
セットアップメニュー	vi
付属品一覧	xvii
本書について	xviii
本書で使われている記号について	xviii
画面のイラストや写真について	xviii
表記について	xviii

1 このカメラの概要

1

カメラの各部名称と機能	2
セレクターボタン	5
フォーカスレバー	5
シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル	5
コマンドダイヤル	6
ドライブボタン	7
インジケーターランプ	8
液晶モニター	9
交換式ファインダーの各部名称と機能	10
ファインダーの取り付け方	11
アイカップ	11
視度調節ダイヤル	11
撮影時の表示画面	12
EVF の表示画面	12
縦表示について	13
LCD の表示画面	14
EVF と LCD の切り替え	16
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	16
情報表示の切り替え	17
画面のカスタマイズ	19
サブ液晶モニター	21
メニューの使い方	22

2 撮影の準備	23
ショルダーストラップを取り付ける	24
レンズを取り付ける	26
バッテリーを充電する	27
バッテリーを入れる	30
メモリーカードを入れる	32
2枚のメモリーカードを使用する場合	33
使用可能なメモリーカード	34
電源をオンにする / オフにする	35
バッテリー残量の表示	36
初期設定を行う	37
言語を変更する	38
日時を変更する	38
3 基本的な撮影と再生	39
プログラムで静止画を撮影する	40
▶ 静止画を再生する	43
廻す画像を消去する	44
4 動画の撮影と再生	45
🎥 動画を撮影する	46
動画の設定について	48
▶ 動画を再生する	49
5 撮影に関する設定	51
P、S、A、Mで撮影する	52
プログラム (P) 撮影	52
シャッタースピード優先 (S) 撮影	54
絞り優先 (A) 撮影	58
マニュアル (M) 撮影	60
オートフォーカス撮影	62
フォーカスモード	63
AFモードの選択	65
フォーカスエリアの変更	67
タッチ操作によるピント合わせ	70
マニュアルフォーカス撮影	71
ピントの確認方法	73

ISO ISO 感度を変更	74
A (オート) 設定について	75
回 測光モードを変更	76
± 露出補正	77
AE/AF ロック撮影	78
ボタンによる AE/AF ロック	79
BKT ブラケティング撮影	80
■ AE ブラケティング	80
ISO ISO ブラケティング	80
■ フィルムシミュレーション BKT	80
WB ホワイトバランス BKT	81
DR ダイナミックレンジ BKT	81
⌚ 連続撮影 (連写)	82
■ 多重露出撮影	83

6 撮影メニュー 85

■ 撮影メニュー (画質設定)	86
画像サイズ	86
画質モード	87
RAW 記録方式	87
フィルムシミュレーション	88
グレイン・エフェクト	89
カラークローム・エフェクト	89
ダイナミックレンジ	89
ホワイトバランス	90
ハイライトトーン	93
シャドウトーン	93
カラー	93
シャープネス	93
ノイズリダクション	94
長秒時ノイズ低減	94
点像復元処理	94
色空間	94
ピクセルマッピング	95
カスタム選択	95
カスタム登録 / 編集	96

MF 撮影メニュー (フォーカス設定)	97
フォーカスエリア選択	97
AF モード	97
縦 / 横位置 AF モード切替	98
AF スピードアップ	98
AF ポイント表示 	98
フォーカス点数切り替え	99
プリ AF	99
顔検出 / 瞳 AF 設定	100
AF+MF	101
MF アシスト	101
フォーカスチェック	102
測光 & フォーカスエリア連動	102
ワンプッシュ AF 時の動作	102
被写界深度スケール	103
レリーズ優先 / フォーカス優先	103
タッチパネルモード	103
REC 撮影メニュー (撮影設定)	104
セルフタイマー	104
セルフタイマー設定保持	104
インターバルタイマー撮影	105
AE ブラケティング設定	106
フィルムシミュレーション BKT	106
測光	107
シャッターワーク	108
ブレ防止モード	109
感度 AUTO 設定	109
マウントアダプター設定	110
ワイヤレス通信	112
FL 撮影メニュー (フラッシュ設定)	113
フラッシュ機能設定	113
赤目補正	113
TTL-LOCK モード	114
LED ライト設定	114
MASTER 設定	115
CH 設定	115

■ 撮影メニュー（動画設定）	116
動画モード	116
動画 AF モード	116
HDMI 出力情報表示	117
HDMI レックコントロール	117
マイクレベル設定	117

7 画像の再生と再生メニュー 119

再生時の表示画面	120
情報表示の切り替え	121
再生方法	123
再生ズーム	124
マルチ再生	124
タッチ操作による再生	125
■ 再生メニュー	126
スロット切り替え	126
RAW 現像	127
消去	129
トリミング	131
リサイズ	132
プロテクト	133
画像回転	134
赤目補正	135
ボイスメモ設定	136
画像コピー	137
ワイヤレス通信	138
フォトブックアシスト	139
プリント予約 (DPOF)	141
instax プリンタープリント	142
表示比率	143

8 セットアップメニュー 145

■ セットアップメニュー（基本設定）	146
フォーマット	146
日時設定	147
世界時計	147
言語/LANG	148

マイメニュー設定	148
センサークリーニング	149
バッテリー劣化度	149
リセット	150
■ セットアップメニュー (音設定)	151
AF 合焦音量	151
セルフタイマー音量	151
操作音量	151
ヘッドホン音量	152
シャッター音量	152
シャッター音	152
再生音量	152
■ セットアップメニュー (表示設定)	153
EVF 明るさ	153
EVF 鮮やかさ	153
LCD 明るさ	153
LCD 鮮やかさ	153
撮影画像表示	154
縦横自動回転表示	154
マニュアル時モニター露出 /WB 反映	155
モニター撮影効果反映	155
フレーミングガイド	156
縦横自動回転再生	157
距離指標の単位	157
画面のカスタマイズ	158
サブ液晶モニター設定	159
■ セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定)	160
フォーカスレバー設定	160
クイックメニュー登録 / 編集	161
ファンクション (Fn) 設定	162
セレクターボタン設定	164
コマンドダイヤル設定	164
半押し AF	164
半押し AE	165
レンズなしレリーズ	165
フォーカスリング	165
AE/AF-LOCK 設定	165

露出補正ボタン設定	166
タッチパネル設定	166
ロック	166
■ セットアップメニュー (消費電力設定)	167
自動電源 OFF	167
撮影スタンバイモード	167
オートパワーセーブ	168
■ セットアップメニュー (保存設定)	169
コマ NO.	169
処理前画像記録	170
ファイル名編集	170
カードスロット設定 (静止画記録)	170
スロット切り替え (順次記録時)	170
動画記録先	171
著作権情報	171
■ セットアップメニュー (接続設定)	172
ワイヤレス設定	172
PC 接続設定	173
位置情報設定	173
instax プリンター接続設定	173
PC 撮影モード	174

9 ショートカット機能	175
ショートカット機能について	176
Q (クイックメニュー) ボタン	177
設定の確認と変更	178
クイックメニューの割り当て変更	179
Fn (ファンクション) ボタン	180
ファンクションボタンの割り当て変更	182
MY マイメニュー	184
マイメニュー設定	184

10 オプション品・外部機器の使い方**187**

交換レンズ	188
レンズの各部名称.....	188
交換レンズのお手入れ.....	189
レンズキャップの取り外し方.....	189
レンズフードの取り付け方.....	189
縦位置バッテリーグリップ.....	190
バッテリーグリップの取り付け方.....	191
バッテリーの入れ方.....	192
EVF チルトアダプター.....	194
取り付け方.....	195
使い方.....	196
クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル.....	197
クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する	198
シンクロターミナル.....	199
クリップオンフラッシュ	200
MASTER (光通信)	203

11 他機器との接続**207**

HDMI 出力	208
撮影画面の出力	208
再生画面の出力	208
無線 LAN 機能で接続.....	210
スマートフォンと通信	210
USB ケーブルでパソコンと接続.....	211
PC 撮影機能を使用する	211
メモリーカードに撮影した画像を転送する	212
カメラとパソコンを接続する	213
instax SHARE プリンターと接続.....	215
プリンターとの接続を設定する	215
画像をプリントする	216

カメラで使えるアクセサリー	218
別売アクセサリー	218
お取り扱いにご注意ください	221
お手入れについて	236
センサークリーニング	237
ファームウエア更新情報	238
ファームウエアバージョンの確認方法	238
トラブルシューティング /FAQ	239
警告表示	248
標準撮影枚数 / 記録時間	252
主な仕様	253
索引	258
ソフトウェアのお問い合わせ	263
アフターサービスについて	264

付属品一覧

ご使用の前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-T125 (1 個)
- バッテリーチャージャー BC-T125 (1 式)
- プラグアダプター (1 式)
- 交換式ファインダー EVF-GFX1 (1 式)
- ボディキャップ (1 個)
- ストラップ取り付け金具 (2 個)
- ストラップ取り付け金具ロック (2 個)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ケーブルプロテクター (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- シンクロターミナルキャップ (1 個) (本体に装着)
- 縦位置バッテリーグリップ用端子カバー (1 個) (本体に装着)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)



- プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。別紙のお知らせをご確認のうえ、適切なアダプターをご使用ください。
- ファインダーは着脱可能ですが、本書では以降の説明を EVF が装着されている状態で説明しています。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルカメラ GFX 50S の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

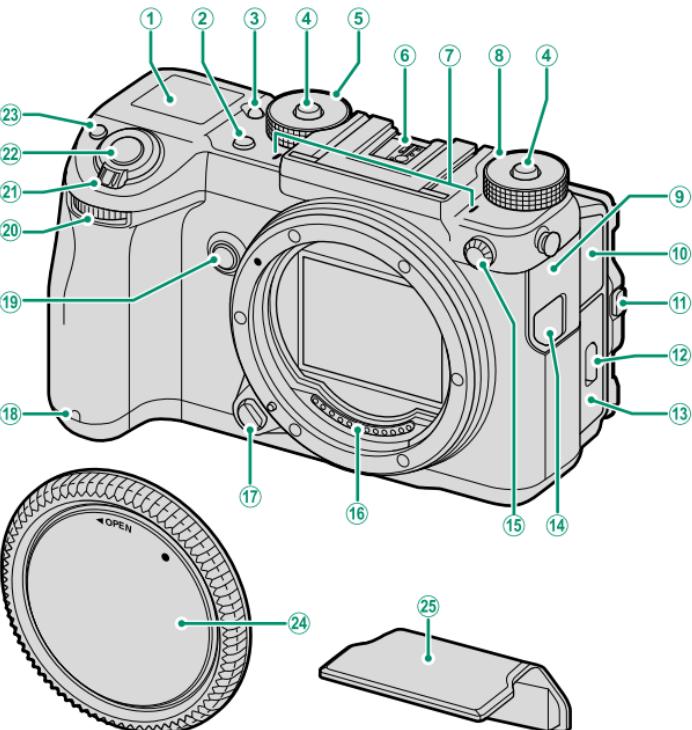
画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

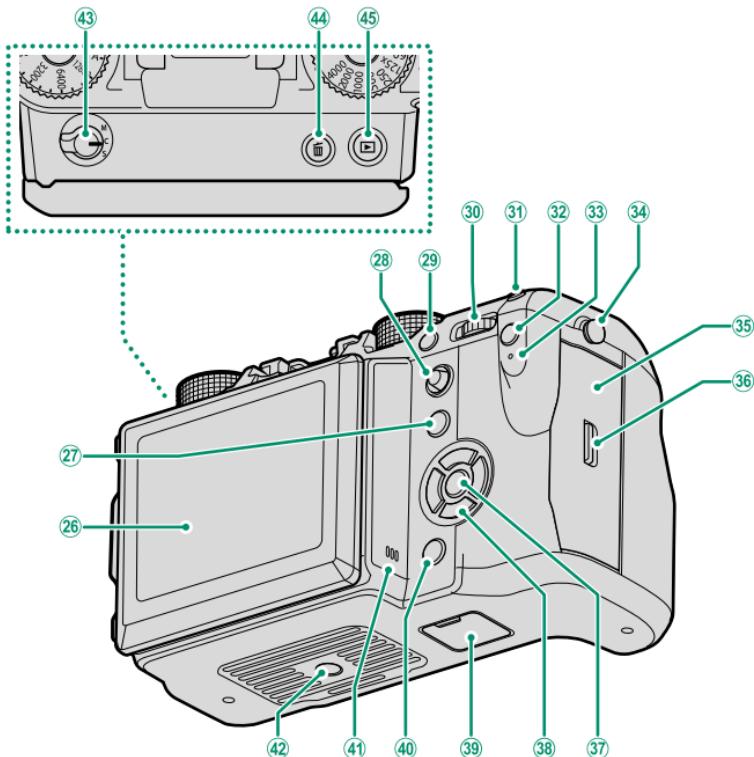
表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになります。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「**EVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。

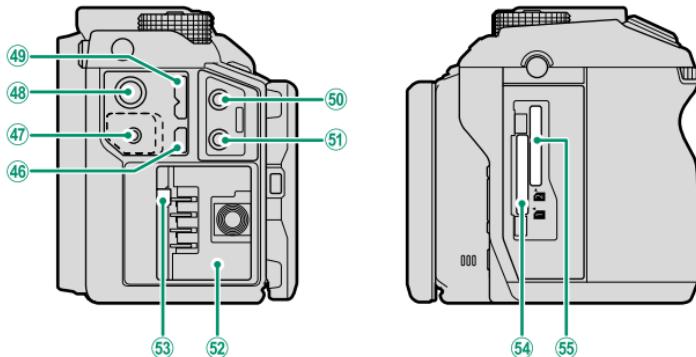
このカメラの概要



① サブ液晶モニター	21	⑭ リモートトレリーズ端子カバー	57
② ドライブボタン	7	⑮ シンクロターミナル	199
③ サブ液晶モニター照明ボタン	21	⑯ レンズ信号接点	26, 188
④ ダイヤルロック解除ボタン	5	⑰ レンズ取り外しボタン	26
⑤ シャッタースピードダイヤル	5, 52, 54, 58, 60	⑱ セルフタイマーランプ	104
⑥ ホットシュー	194, 200	⑲ Fn2 ボタン	180
⑦ マイク	47, 117	⑳ フロントコマンドダイヤル	6, 164
⑧ 感度ダイヤル	5, 74, 109	㉑ 電源レバー	35
⑨ 端子カバー 1	29, 57, 208, 213	㉒ シャッター ボタン	42
⑩ 端子カバー 2	117, 152, 47	㉓ Fn1 ボタン	180
㉔ チルトロック解除ボタン	9	㉕ (露出補正) ボタン	77
㉖ バッテリーカバーロック	30	㉗ ボディキヤップ	26
㉘ バッテリーカバー	30	㉙ ホットシュー カバー	194, 200



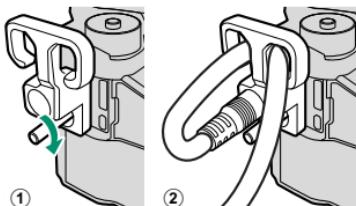
② チルト式液晶モニター (LCD)	9, 14, 16
タッチパネル	70, 103, 125, 166
② Fn5 ボタン	180
② Fn4 ボタン	180
③ リアコマンドダイヤル	6, 123, 164
③ Fn3 ボタン	180
③ Q (クイックメニュー) ボタン	177
③ インジケーターランプ	8, 29, 193
③ ストラップ取り付け部	24
③ メモリーカードスロットカバー	32
③ メモリーカードスロットカバーロック	32
③ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン	5, 22
③ セレクター ボタン	5, 164
③ 縦位置バッテリーグリップ用端子カバー	190
③ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン	17, 121
③ スピーカー	49, 152
③ 三脚用ねじ穴	
③ フォーカスマード切換レバー	63
③ □ (消去) ボタン	44
③ ▶ (再生) ボタン	43



④⁶ HDMI マイクロ端子 (Type D)	208	⑤¹ ヘッドホン端子	152
④⁷ リモートリリース端子 (φ 2.5)	57	⑤² バッテリー挿入部	30
④⁸ DC IN 15V 端子	29	⑤³ バッテリー取り外しつまみ	31
④⁹ マイクロ USB 端子 (Micro-B)		⑤⁴ メモリーカードスロット 1	32
USB3.0/USB2.0	57, 213	⑤⁵ メモリーカードスロット 2	32
⑤⁰ マイク端子 (φ 3.5)	47, 117		

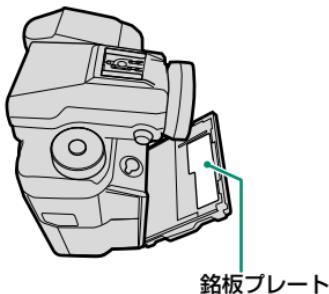
ケーブルプロテクターについて

- ① ケーブルプロテクターは、AC パワーアダプターや USB ケーブルを使っているときに、ケーブルに引っかかってケーブルが抜けたりするのを防ぐためのものです。プロテクターは、図のように取り付け、ネジを回して固定します。
- ② ケーブルを差し込んで、図のように通します。 ①



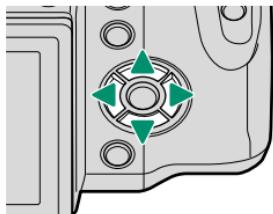
銘板プレートについて

FCC ID、KC マーク、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。



セレクター ボタン

▲▼◀▶ (上下左右) ボタンを押してメニューなどの項目を選択できます。また、ファンクションボタン (Fn6 ~ Fn9) としても使用できます (図 180)。



撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に が表示され、セレクター ボタン、**Q** ボタン、**Fn5** ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

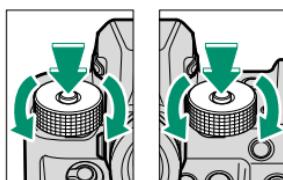
フォーカスレバー

フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。



シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル

シャッタースピード (S.S.) ダイヤルや感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押して、ロックを解除してからダイヤルを回します。ロック解除ボタンをもう一度押すと、ダイヤルがロックされます。

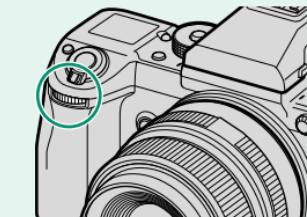
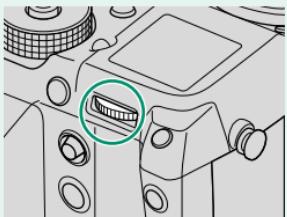


感度
ダイヤル

S.S.
ダイヤル

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
 回転	 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムシフト ・絞り値の変更 ・ISO 感度の設定（感度ダイヤルが C の位置時） ・前後の画像を表示（再生時） ・メニュー タブ、ページの切り替え 	 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムシフト ・シャッタースピードの変更 ・露出補正（ [露出補正] ボタンを押しながら回転） ・クイックメニューの設定値を変更 ・フォーカスエリアのサイズ変更 ・ピント位置の拡大表示倍率変更 ・画像を再生ズーム（再生時） ・画像をマルチ再生（再生時） ・メニュー項目の選択
 中央押し	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り値と ISO 感度の切り替え（感度ダイヤルが C の位置時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンクションボタン（Fn10） ・マニュアルフォーカス時に長押しで、MF アシストの設定切り替え ・ピント位置拡大表示（再生時）

ドライブボタン

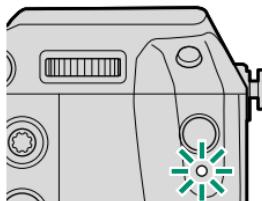
ドライブボタンを押すと、ドライブモード選択画面が表示されドライブモードを選択できます。



ドライブモード		書	ドライブモード		書
	1 コマ撮影	40		ホワイトバランス BKT	81
	連写	82		ダイナミックレンジ BKT	81
	AE ブラケティング	80		多重露出	83
	ISO ブラケティング	80		動画	46
	フィルムシミュレーション BKT	80			

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



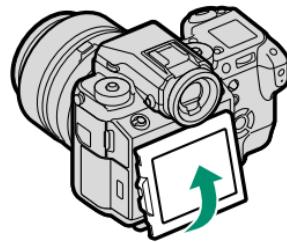
インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーをのぞいているときは、インジケーターランプは点灯 / 点滅しません。

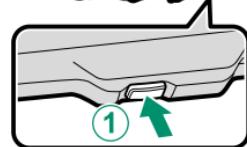
液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

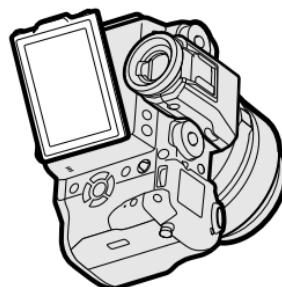


縦向きのチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。図のようにチルトロック解除ボタンを押して、見やすい角度に調整してください。縦位置（ローアングル / ハイアングル）撮影に便利です。

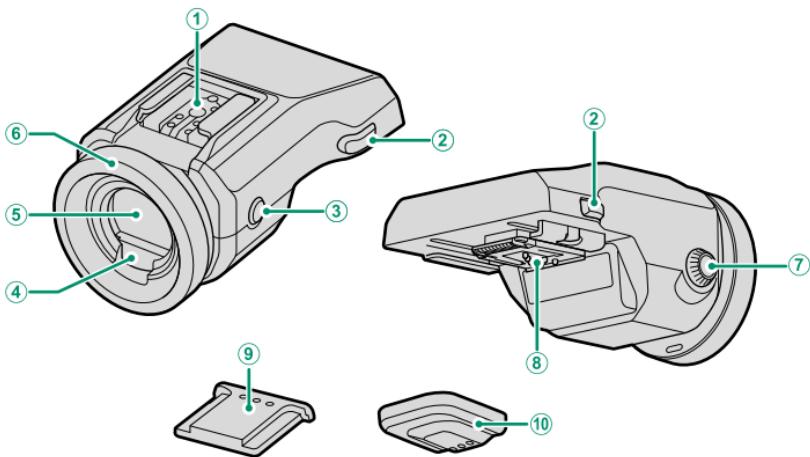


- 縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります。



液晶モニターはタッチパネルとして操作できます（[70](#)、[125](#)）。

交換式ファインダーの各部名称と機能



① ホットシュー	194, 200	⑥ アイカップ	11
② EVF ロック解除ボタン	11	⑦ 視度調節ダイヤル	11
③ VIEW MODE ボタン	16	⑧ 接続端子	11
④ アイセンサー	16	⑨ ホットシューカバー	
⑤ ファインダー (EVF)	12, 16	⑩ 端子カバー	

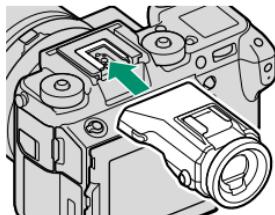
ファインダーについて

別売の EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右 ($\pm 45^\circ$)、上下 ($0^\circ \sim 90^\circ$) に変更できます (図 194)。



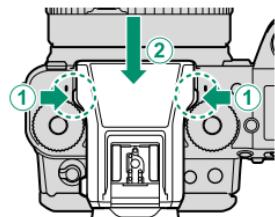
ファインダーの取り付け方

ファインダーを使用すると、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。ホットシューカバーを取り外し「カチッ」と音（感触）がするまで押し込み、カメラに取り付けます。



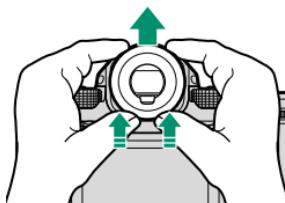
ファインダーを取り外すときは

両方のEVFロック解除ボタンを押しながら（①）、正面側を押さえて（②）ファインダーを取り外します。



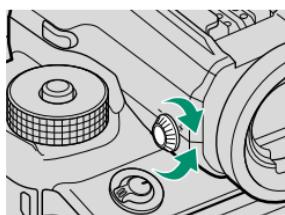
アイカップ

アイカップを取り外すときは、両手でアイカップの下部を押さえて、上に引き上げてください。



視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。調節できる視度の範囲は $-4 \sim +2 \text{ m}^{-1}$ (dpt) です。



撮影時の表示画面

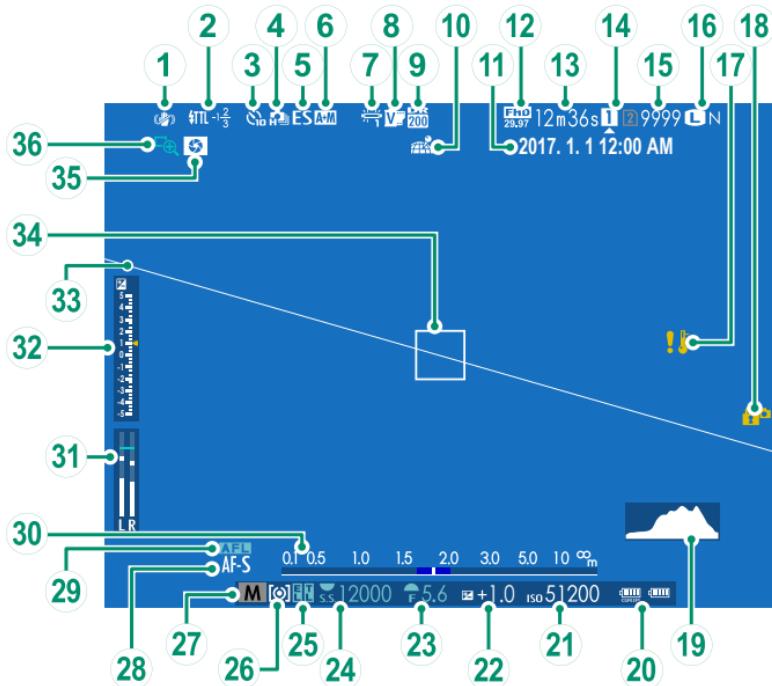
撮影時は、ファインダー (EVF) / 液晶モニター (LCD) に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面

1

このカメラの概要



① ブレ防止	109	⑯ ヒストグラム	20
② フラッシュ (TTL モード) / 調光補正	200	⑰ パッテリー残量表示	36
③ セルフタイマー	104	⑱ ISO 感度	74
④ 連写モード	82	⑲ 露出補正	77
⑤ シャッター方式	108	⑳ 絞り値	53, 58, 60
⑥ AF+MF	101	㉑ シャッタースピード	53, 54, 60
⑦ ホワイトバランス	90	㉒ AE ロック	79, 165
⑧ フィルムシミュレーション	88	㉓ TTL ロック	114, 163, 183
⑨ ダイナミックレンジ	89	㉔ 測光モード	76
⑩ 位置情報取得状態	173	㉕ 撮影モード	52
⑪ 日付・時刻	37, 147	㉖ フォーカスマード ^{*2}	63
⑫ 動画モード	46, 116	㉗ AF ロック	79, 165
⑬ 動画撮影の残り時間	46	㉘ 距離指標バー	73
⑭ カードスロット設定	33, 170	㉙ マイクレベル	117
⑮ 撮影可能枚数 ^{*1}	252	㉚ 露出インジケーター	60, 77
⑯ 画像サイズ	86	㉛ 電子水準器	20
画質モード	87	㉜ AF フレーム	67, 78
⑰ 温度警告	251	㉝ 被写界深度確認	59, 73
⑱ ボタンロック	5	㉞ フォーカスチェック	73, 102

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2 撮影状況によっては ㉙ の位置には  (合焦マーク) または  (マニュアルフォーカス) が表示される場合があります。

撮影時のボタンロックについて

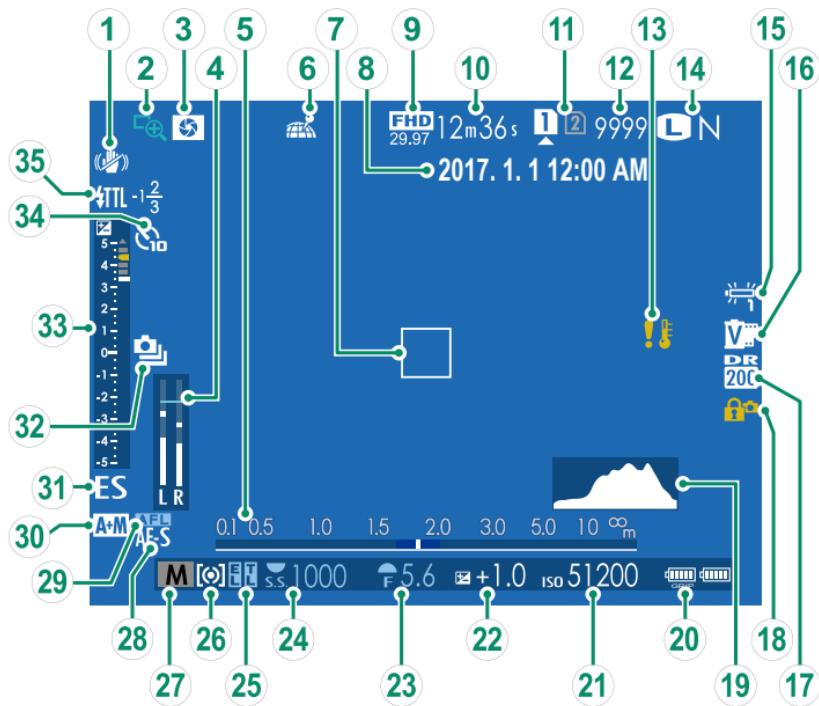
MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます。



縦表示について

カメラを縦向きで撮影するときは、**表示設定** > **縦横自動回転表示**を **ON** にすると、ファインダー (EVF) または液晶モニター (LCD) の情報表示が縦向きになります。

LCD の表示画面



① ブレ防止	109	⑯ ヒストグラム	20
② フォーカスチェック	73、102	⑰ バッテリー残量表示	36
③ 被写界深度確認	59、73	⑱ ISO 感度	74
④ マイクレベル	117	⑲ 露出補正	77
⑤ 距離指標バー	73	⑳ 絞り値	53、58、60
⑥ 位置情報取得状態	173	㉑ シャッタースピード	53、54、60
⑦ AF フレーム	67、78	㉒ AE ロック	79、165
⑧ 日付・時刻	37、147	㉓ TTL ロック	114、163、183
⑨ 動画モード	46、116	㉔ 測光モード	76
⑩ 動画撮影の残り時間	46	㉕ 撮影モード	52
⑪ カードスロット設定	33、170	㉖ フォーカスマード ^{*2}	63
⑫ 撮影可能枚数 ^{*1}	252	㉗ AF ロック	79、165
⑬ 温度警告	251	㉘ AF+MF	101
⑭ 画像サイズ	86	㉙ シャッター方式	108
画質モード	87	㉚ 連写モード	82
⑮ ホワイトバランス	90	㉛ 露出インジケーター	60、77
⑯ フィルムシミュレーション	88	㉜ セルフタイマー	104
⑰ ダイナミックレンジ	89	㉝ フラッシュ (TTL モード) / 調光補正	
⑱ ボタンロック	5		200

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2 撮影状況によっては ㉙ の位置には (合焦マーク) または MF (マニュアルフォーカス) が表示される場合があります。

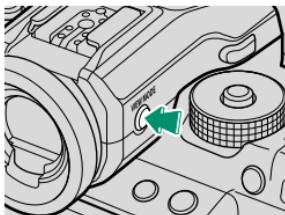
撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます。



EVF と LCD の切り替え

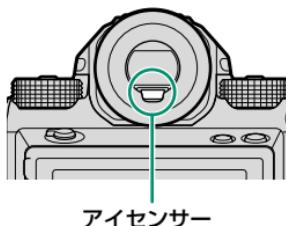
VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー (EVF) と液晶モニター (LCD) の表示が以下のように切り替わります。



設定	内容
AI SENSOR	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。

アイセンサーについて

目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。

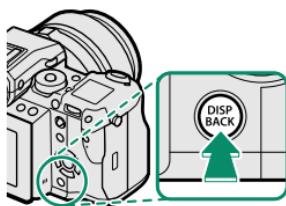


EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

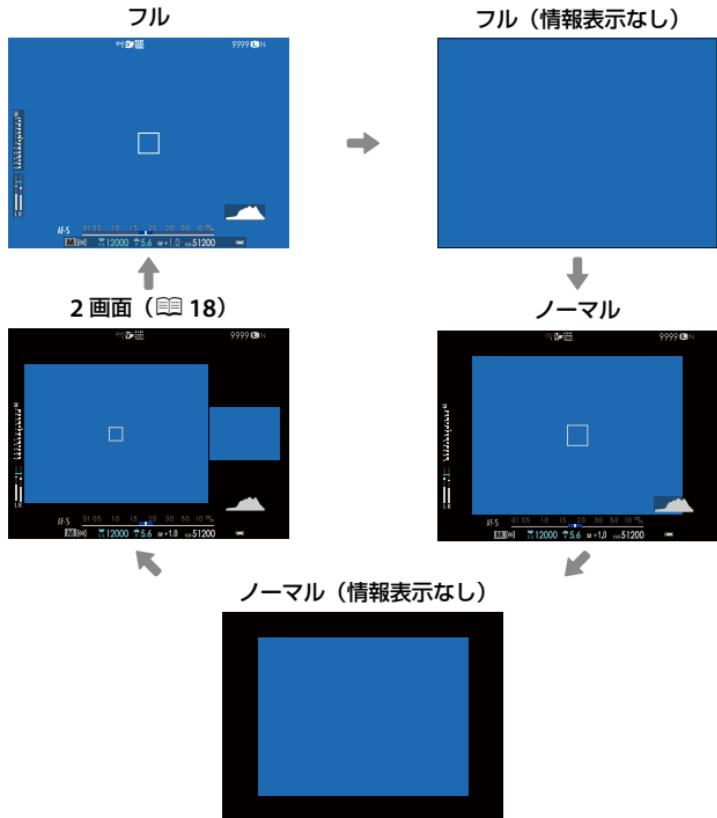
屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ**、**EVF 鮮やかさ**でファインダー (EVF) の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ**、**LCD 鮮やかさ**で液晶モニター (LCD) の明るさや鮮やかさを調整します。

情報表示の切り替え

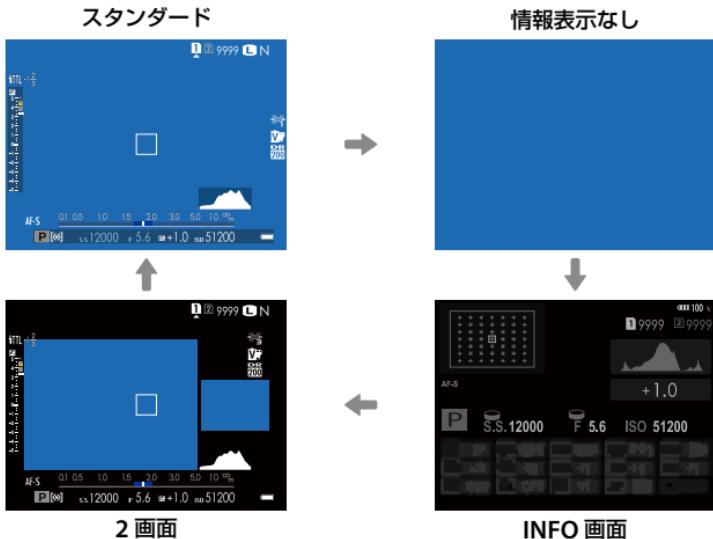
撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



■ ファインダー (EVF)



液晶モニター (LCD)



2画面について

「2画面」が表示されるのはマニュアルフォーカス時(フォーカスマードがMのとき)のみです。「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面(大きい画面)とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面(小さい画面)の2画面を表示します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定** > **画面のカスタマイズ**で選択できます。

- 1 スタンダード画面になるまで**DISP/BACK**ボタンを押します。
- 2 セットアップメニューから**表示設定** > **画面のカスタマイズ**を選びます。
- 3 表示したい項目を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

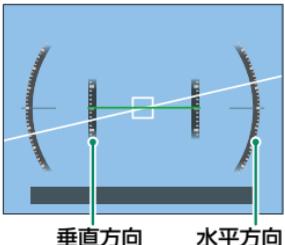
画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- 電子水準器
- AF フレーム
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- ライブビューハイライト警告
- 撮影モード
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- 情報表示背景
- 露出補正表示
- 露出補正ゲージ
- フォーカスマード
- 測光
- シャッター方式
- フラッシュ
- 連写モード
- ブレ防止
- タッチパネルモード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- 動画モード & 録画時間
- マイクレベル設定
- バッテリー残量表示
- 画像枠

- 4 各項目を設定し、**DISP/BACK**ボタンを押します。
- 設定が保存されます。
- 5 **DISP/BACK**ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

電子水準器について

カメラの傾きを感じて表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。電子水準器を割り当てたファンクションボタンを押すと、3D表示になります（[図 162、182](#)）。

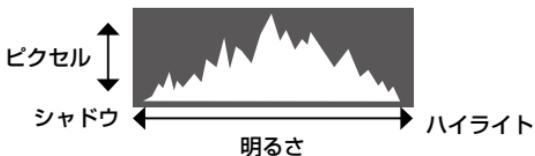


画面枠について

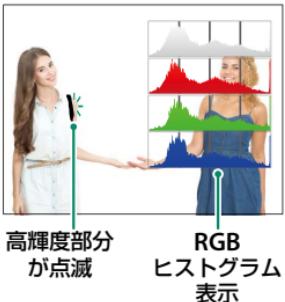
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ／縦軸：ピクセル数）に表したもので、被写体によってグラフ形状は異なります。

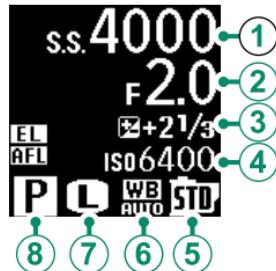


ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGBヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（[図 162、182](#)）。



サブ液晶モニター

サブ液晶モニターにはカメラの設定を、テキスト表示（①～④）とアイコン表示（⑤～⑧）でそれぞれ4つずつ表示できます。表示する項目は **表示設定** > **サブ液晶モニター設定** で選択できます。



工場出荷時の設定

工場出荷時の設定と変更できる項目は次のとおりです。

	テキスト表示	アイコン表示
工 場 出 荷 時	① シャッター速度* ② 絞り* ③ 露出補正表示* ④ ISO*	⑤ フィルムシミュレーション* ⑥ ホワイトバランス* ⑦ 画像サイズ ⑧ 撮影モード*
設 定 可 能 な 項 目	<ul style="list-style-type: none"> 動画モード* 撮影枚数 録画時間* なし* 	<ul style="list-style-type: none"> 測光* ドライブモード フォーカスマード* 画質モード バッテリー残量表示* カードスロット設定* シャッター方式 ダイナミックレンジ 動画モード なし*

 静止画撮影時と動画撮影時の項目をそれぞれ別々に変更できます。「*」は、動画撮影時に表示可能な項目です。

サブ液晶モニター照明ボタン

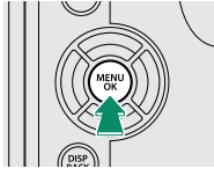
サブ液晶モニターが見えづらいときなどは、サブ液晶モニター照明ボタンを押すと、サブ液晶モニターの照明が点灯します。もう一度押すと、照明が消灯します。



メニューの使い方

MENU/OKボタンを押すと、メニューが表示されます。

撮影時



1	画質設定	1/3
■	画像サイズ	▶
AF	画質モード	
MF	RAW記録方式	
◀	フィルムシミュレーション	
▲	グレイン・エフェクト	
●	カラークローム・エフェクト	
▼	ダイナミックレンジ	
◆	ホワイトバランス	

BACK 終了

再生時

1	再生メニュー	1/2
■	スロット切り替え	▶
AF	RAW現像	
MF	消去	
◀	トリミング	
▲	リサイズ	
●	プロジェクト	
▼	画像回転	
◆	赤目補正	

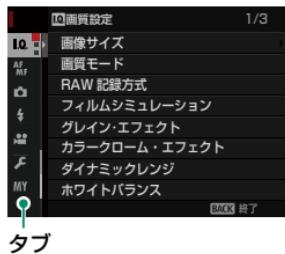
BACK 終了

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1** MENU/OKボタンを押して、メニューを表示します。



- 2** ◀でタブ選択に移ります。



- 3** ▲または▼で使用する項目のメニュータブ (■ / AF / MF / □ / ◀ / ▲ / ▼ / ◆ / □ / ◀) を選びます。

- 4** ▶でメニューに戻ります。

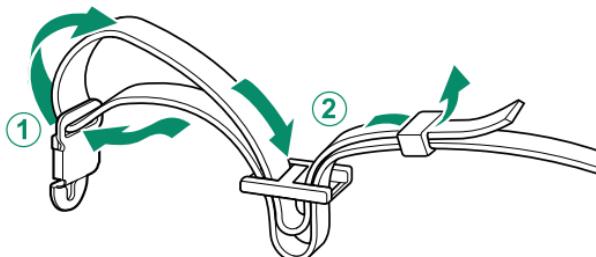
 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

撮影の準備

ショルダーストラップを取り付ける

ショルダーストラップは、ストラップ取り付け金具をショルダーストラップに取り付けてからカメラに取り付けます。

- 1 ストラップ取り付け金具にショルダーストラップを通し（①）、ストラップ止め具に通します（②）。

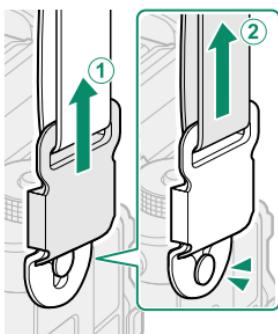


2

撮影の準備

- 2 ストラップ取り付け金具をカメラのストラップ取付け部に取り付けます。

- ・ストラップを引き上げ（①）、「○」の状態になるようにしっかり取り付けてください（②）。
- ・「○」の状態のときは、「カチッ」と音（感触）がするまで金具斜面部分（③）を押して、「○」の状態になるようにしっかり取り付けてください。



正しく取り付けられている状態



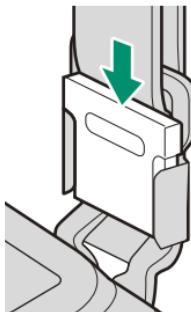
正しく取り付けられていない状態

- 3 反対側も同様に取り付けます。

- (!)
 - ・取り付けは上記の手順で行ってください。
 - ・ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

ストラップ取り付け金具ロックについて

ストラップ取り付け金具ロックは、必ずストラップ取り付け金具をカメラに正しく取り付けた後に差し込んでください (図 24)。ストラップ取り付け金具ロックを差し込むと、ストラップが固定され、簡単にはストラップ取付金具が外れなくなります。



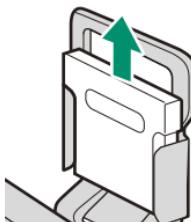
- ・ストラップ取り付け金具ロックは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・ストラップ取り付け金具ロックは、ストラップ金具がカメラに正しく取り付けられた状態で挿入してください (図 24)。正しく取り付けられていない状態で、ストラップ取り付け金具ロックを挿入すると、ストラップ取り付け金具が破損するおそれがあります。
- ・ストラップ取り付け金具ロックを取り付けた状態で、ストラップ金具をカメラに取り付けないでください。ストラップ取り付け金具が破損するおそれがあります。

ストラップ取り付け金具の取り外し方

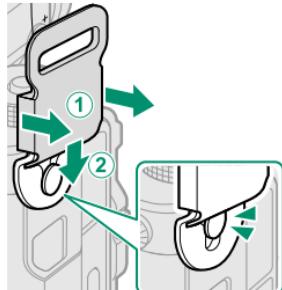
1 ストラップ取り付け金具ロックを取り外します。



ストラップ取り付け金具ロックを取り外すときは、ストラップを取り付け金具から外してから金具ロックを取り外してください。



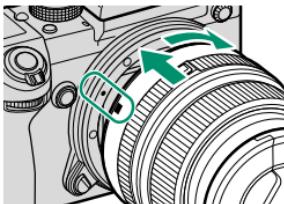
2 ストラップ取り付け金具の両脇をつまみ、矢印の方向に引いて (①) 、そのまま下におろします (②) 。



レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Gマウント対応のレンズが使用できます。

カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせてレンズを回し、カメラにレンズを取り付けます。

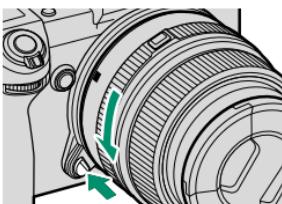


2

- ①
- ・カメラ内部には触れないでください。
 - ・「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
 - ・レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して矢印の方向にレンズを回してください。



- ① レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。

別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Gマウント対応のレンズやアクセサリーが使用できます。

- ① レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことにご注意ください。
- ・ゴミやほこりの付着に注意してください。
 - ・直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
 - ・レンズキャップを取り付けて行ってください。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーをフル充電してください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-T125 です。
- 充電時間は約 140 分です。

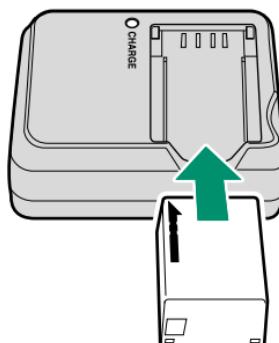
1 バッテリーチャージャーにプラグアダプターを取り付けます。



プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。別紙のお知らせをご確認のうえ、適切なアダプターをご使用ください。

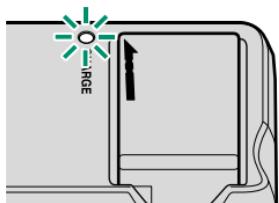
2 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

指標（矢印）の方向を確認し、端子同士が向き合うように取り付けてください。



3 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。



4 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

充電ランプの表示

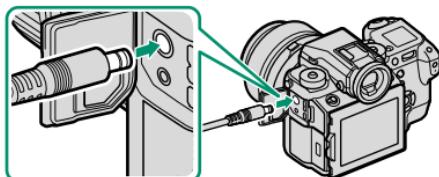
充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。

- ①
- ・バッテリーチャージャー使用時は、付属のプラグアダプターをお使いになる国、地域に合わせて装着してください。
 - ・工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
 - ・バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
 - ・バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
 - ・バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
 - ・必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
 - ・外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
 - ・バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)には、バッテリーを充電してください。
 - ・使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
 - ・バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - ・充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
 - ・低温時は充電時間が長くなることがあります。

AC パワーアダプターで充電する

カメラにバッテリーを入れた状態で別売の AC パワーアダプター AC-15V を AC 電源に接続すると、バッテリーを充電できます。充電時間は約 120 分です。



カメラの電源をオン（再生モード）にしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケーターランプでバッテリーの充電状態を示します。

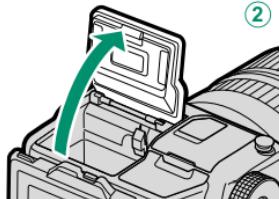
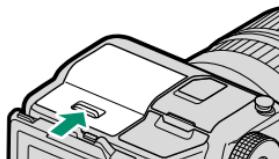
電源オン時の アイコン	電源オフ時の インジケーターランプ	バッテリーの状態
■ (黄点灯)	点灯	充電中
■ (緑点灯)	消灯	充電完了
■ (赤点灯)	点滅	バッテリー異常

バッテリーを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせ て、バッテリーカバーを開けます。

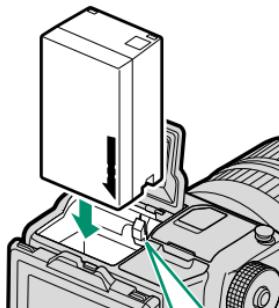
- !
 - ・カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーを抜かないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れことがあります。
 - ・バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



2 バッテリーを入れます。

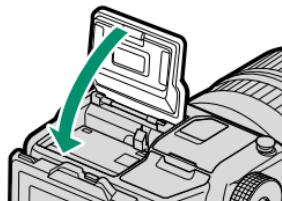
図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

- !
 - ・バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
 - ・バッテリーがしっかりと固定されていることを確認してください。



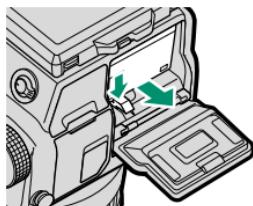
3 バッテリーカバーを閉めます。

- !
バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



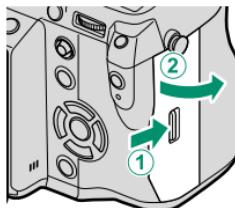
- !
高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを入れる

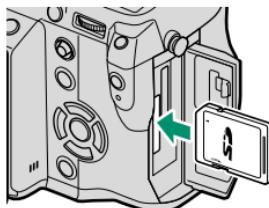
撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。

 このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。

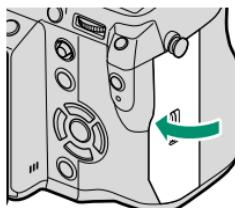
- 1 メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。



- 2 メモリーカードを入れます。



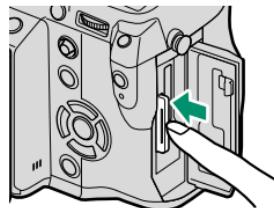
- 3 メモリーカードスロットカバーを閉めます。



-  • カメラの電源がオンになっているときは、メモリーカードを抜かないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



- ① • メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
 • メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出しがあります。指は静かに放してください。

2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、**保存設定** > **カードスロット設定（静止画記録）**で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 保存設定 > スロット切り替え（順次記録時） で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
RAW/JPEG 分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。この設定は 画質設定 > 画質モード が、 FINE+RAW または NORMAL+RAW のときのみ有効です。	

動画の記録先スロットは、**保存設定** > **動画記録先**で変更できます。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- このカメラでは、UHS-II のメモリーカードに対応しています。
- 動画撮影をするときは、UHS スピードクラス 1 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

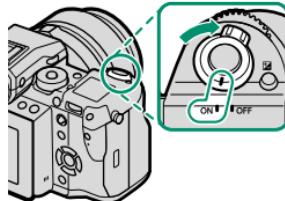
- ①**
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
 - メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
 - 未使用的メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
 - メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
 - 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
 - メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
 - メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
 - カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



① レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- ②
- 撮影中に ▶ (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
 - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- **消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



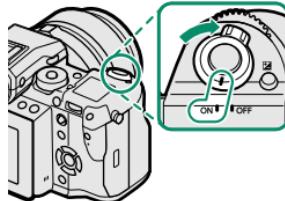
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80% です。
	バッテリーの残量は約 60% です。
	バッテリーの残量は約 40% です。
	バッテリーの残量は約 20% です。
	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。 (赤点灯)
	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。 (赤点滅)

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されません。

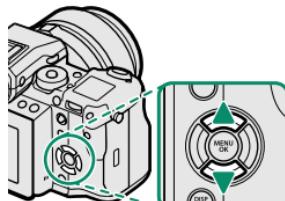
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



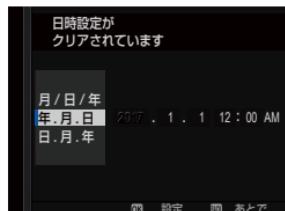
2 言語を設定します。

▲▼で使用する言語を選び、MENU/OKボタンを押します。



3 年月日の並び順を設定します。

▲▼で年月日の並び順を選びます。



4 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼で設定する数字を選びます。



5 MENU/OKボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。

 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

設定の途中で **DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 言語/LANG. を選びます。

2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選びます。

3 MENU/OKボタンを押します。

設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 日時設定 を選びます。

2 日時を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

3 MENU/OKボタンを押します。

日時が設定されます。

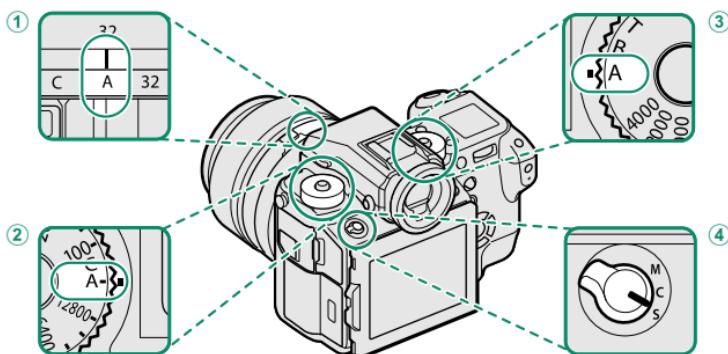
3

基本的な撮影と再生

■ プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[図 52](#)）。

1 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



設定

設定	参考
① 紋り設定	A（オート）
② ISO 感度	A（オート）
③ シャッタースピード	A（オート）
④ フォーカスモード	S（AF-S）

 シャッタースピードダイヤルと感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

2 撮影画面にPが表示されていることを確認します。

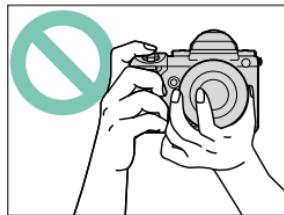


3 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



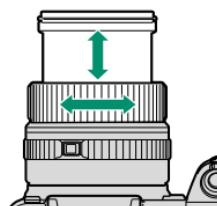
- レンズに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



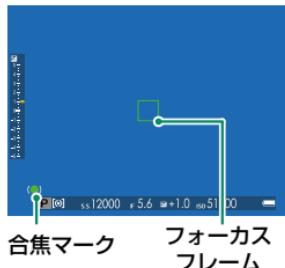
4 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク

フォーカス
フレーム

- ピントが合うと、ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- ピントが合わないときは、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF**が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



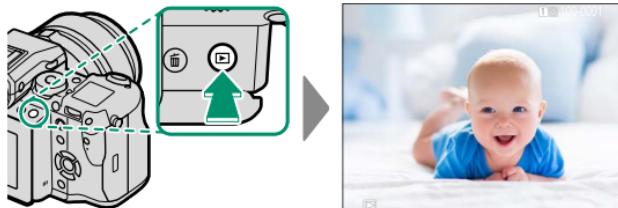
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

▶ 静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには◀を押します。次の画像を見るには▶を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。



- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに△（プレゼントアイコン）が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりするときがあります。

再生するメモリーカードについて

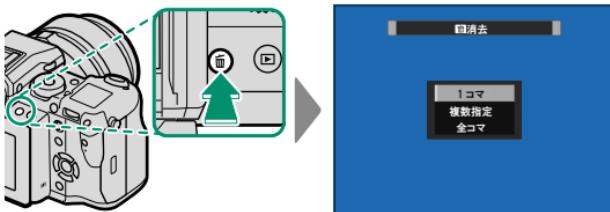
▶ ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。
 □ 再生メニュー>スロット切り替えからも再生するメモリーカードの切り替えができます。

廃 画像を消去する

1 コマ再生時に廃ボタンを押すと、画像を消去できます。

(!) 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1コマ再生中に廃ボタンを押して、1コマを選びます。



2 消去する画像を◀または▶で選んでからMENU/OKボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- MENU/OKボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OKボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を◀または▶で選んでからMENU/OKボタンを押してください。

(!)

- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (図 133)。
- 再生メニュー>消去でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は 再生メニュー>消去をご覧ください (図 129)。

4

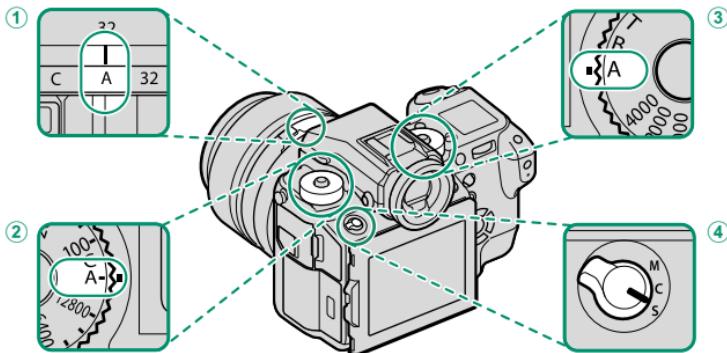
動画の撮影と再生



動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面から 動画 を選びます。
- 2 カメラの設定をプログラム (P) 撮影の設定にします。



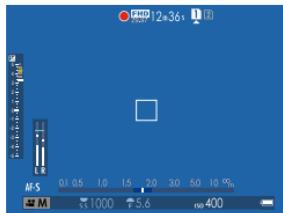
設定		説明
① 絞り設定	A (オート)	52
② ISO 感度	A (オート)	74
③ シャッタースピード	A (オート)	52
④ フォーカスモード	S (AF-S)	63

シャッタースピードダイヤルと感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

3 シャッター ボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。



4 もう一度シャッター ボタンを押すと、撮影が終了します。

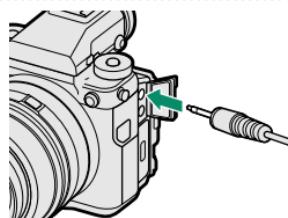
残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- !
- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
 - 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
 - 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがあります。故障ではありません。

- !
- 動画の記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。
 - ズームリングがあるレンズを使用している場合は、動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます。
 - 絞りモードスイッチの設定(AまたはA以外)は、動画撮影前に行ってください。絞りモードスイッチがA以外のときは、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値の設定を変更できます。
 - 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲となります。
 - 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクのプラグはプラグインパワーを必要としないΦ3.5mmピンで取り付けるものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



動画の設定について

- 撮影メニューの **■ 動画設定** で動画の種類や動画サイズ、フレームレートなどを変更できます。
- 動画を記録するメモリーカードは **■ 保存設定** > **動画記録先** で変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**AF_{Mc}** **フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定** の **顔検出** が **ON** のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、顔検出を **ON** にしても顔検出は行われません。

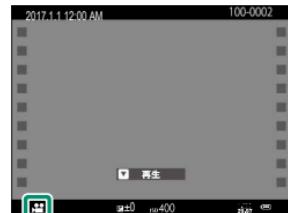
背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

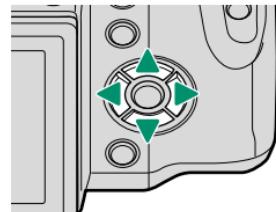
▶ 動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、 が表示されます。

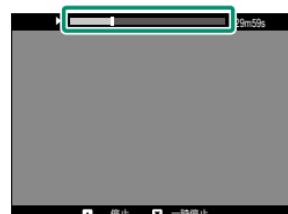


動画再生時の操作は、セレクターボタン(**▲▼◀▶**)で行います。



	▶ 再生中	■ 一時停止中
▲ (上)	停止	
▼ (下)	一時停止	再生
◀▶ (左右)	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。

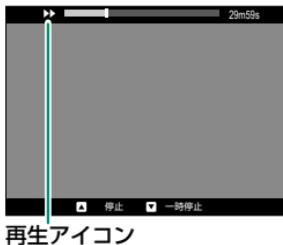


 スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。**▲** または **▼** を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量** でも設定できます。

動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。
再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



5

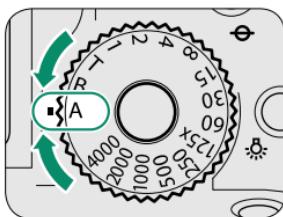
撮影に関する設定

P、S、A、Mで撮影する

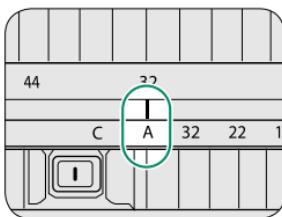
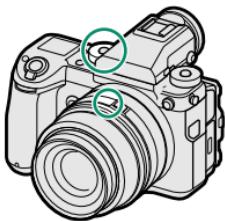
シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

プログラム（P）撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



シャッタースピード

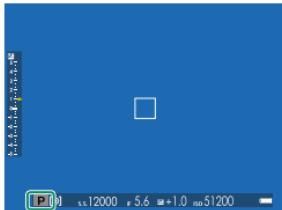


絞り設定

設定

シャッタースピード	A (オート)
絞り設定	A (オート)

表示画面にPが表示されます。

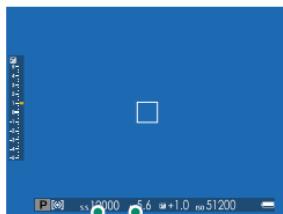


(!) 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

■ シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



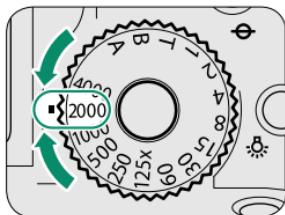
① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- 画質設定 > ダイナミックレンジが AUTO のとき
- 動画を撮影しているとき

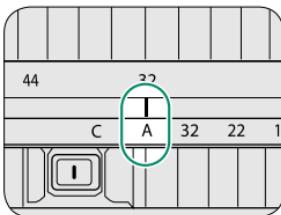
■ 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。



シャッタースピード

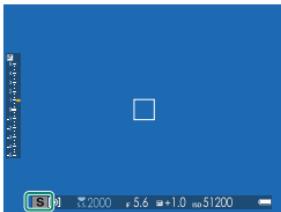


絞り設定

設定

シャッタースピード	任意 (自分で設定)
絞り設定	A (オート)

表示画面に S が表示されます。

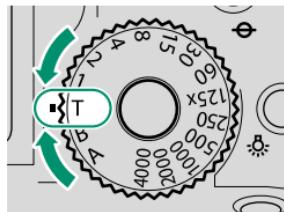


- ①
- 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
 - 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。
- ②
- シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
 - リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $1/3$ 段きざみで微調整できます。
 - シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。

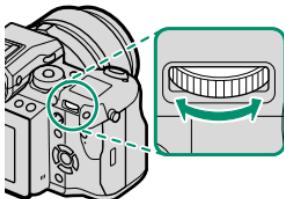
■ タイム撮影 (T)

シャッタースピードダイヤルを **T** に設定すると、タイム撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを **T** に合わせます。



- 2 リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



- 3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

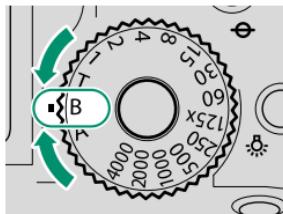
撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

■ バルブ撮影 (B)

シャッタースピードダイヤルを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを **B** に合わせます。



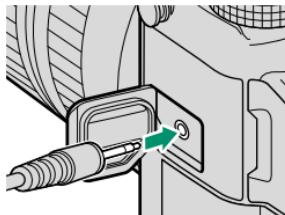
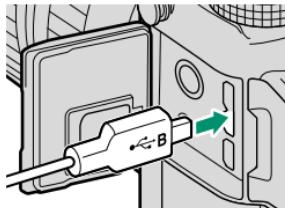
- 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
 - 撮影中は、経過時間が表示されます。
- • 紋りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定** > **長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートレリーズを使用する

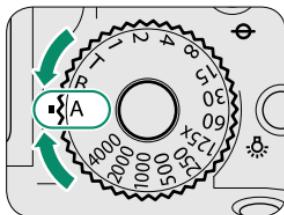
長時間露光撮影時には、リモートレリーズが便利です。

- 別売のリモートレリーズ RR-90 を使用するときは、マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 に取り付けます。
- 市販の電子式リモートレリーズを使用するときは、リモートレリーズ端子 (Φ 2.5 mm 3 極ミニジャック) に取り付けます。

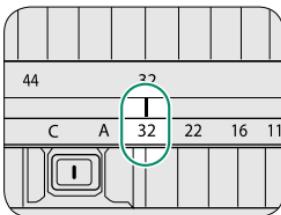


絞り優先（A）撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



シャッタースピード



絞り設定

設定

シャッタースピード	A (オート)
絞り設定	任意（自分で設定）

表示画面に **A** が表示されます。



- ① **!** 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
 - 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
-
- ◆** シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
 - 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
 - シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと  が表示され、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。

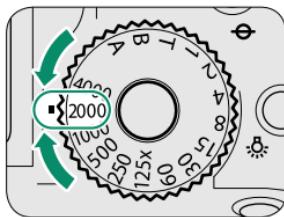


- 「スタンダード」表示になるまで **DISP/BACK** ボタンを押すと、距離指標バーで被写界深度を確認できます。
- AF 時はシャッターボタンを半押しすると、被写界深度のスケールが表示されます。
- 被写界深度のスケール(ゲージ)の基準を  **フォーカス設定** > **被写界深度スケール**で設定できます。**フィルム基準**はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準**はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

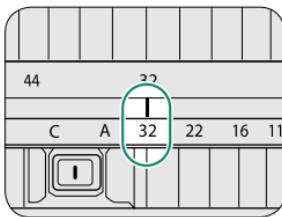


マニュアル（M）撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケーターを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



シャッタースピード

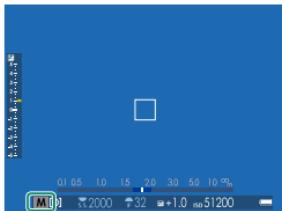


絞り設定

設定

シャッタースピード	任意（自分で設定）
絞り設定	任意（自分で設定）

表示画面に **M** が表示されます。



- シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
- リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $1/3$ 段きざみで微調整できます。

露出設定プレビューについて

■表示設定 > マニュアル時モニター露出 /WB 反映が OFF 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

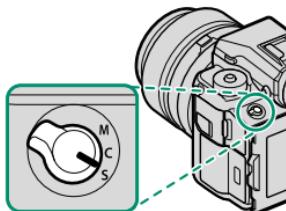


- フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わった場合は、マニュアル時モニター露出 /WB 反映を OFF にしてください。

オートフォーカス撮影

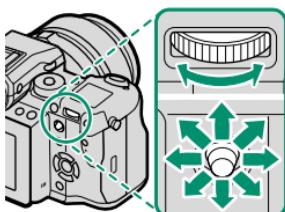
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーをSまたはCに設定します (図63)。



- 2 撮影メニューの [AF] フォーカス設定 > AFモードからAFモードを選びます (図65)。

- 3 フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (図67)。

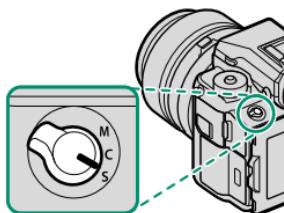


- 4 撮影します。

AFシステムについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/af/ja/index.html>

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッター ボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッター ボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (☞ 71)。

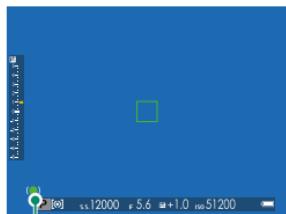


- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、 フォーカス設定 > プリ AF を **ON** にすると、シャッター ボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。
- フォーカスモードが **C** のときは、 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の **瞳 AF** は機能しません。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。



合焦マーク

AF モードの選択

オートフォーカスモード（フォーカスモードが **S** または **C** のとき）と AF モードの組み合わせでさまざまな撮影シーンに応じたフォーカスエリアを選択できます。

AF モードの設定方法

1 MENU/OKボタンを押して、撮影メニューを表示します。

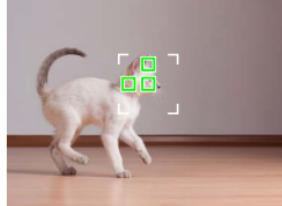
2  フォーカス設定 > AFモードを選びます。

3 設定するAFモードを選びます。

 この設定はショートカット機能でも設定できます（[176](#)）。

AF モードの種類

- フォーカスモードが **S** (AF-S) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定した 1 点のフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ワイド / ト racking	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。	

• フォーカスモードが C (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したピンポイントのフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向いたAFモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンの中央で捉えた被写体内に、常にピントを合わせ続けます。	
 ワイド/ トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	

フォーカスエリアの変更

フォーカスモードが **S** または **C** のときのフォーカスエリアを変更できます。

■ フォーカスエリアの変更方法

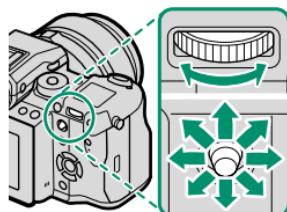
1 MENU/OKボタンを押して、撮影メニューを表示します。

2  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。

3 フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。

■ フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。AF モードの設定によって操作が異なります。



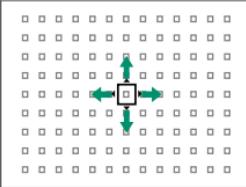
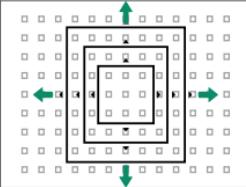
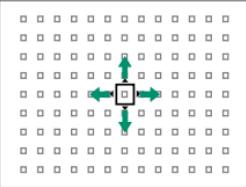
AF モード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
	8 方向移動	中央押し	回転	中央押し
	移動した方向に フォーカスエリア が移動	フォーカスエリア が中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100% 戻る
			サイズ変更 (3段階)	
			なし	

-  **トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードが **C** のときのみ有効です。
- フォーカスエリアの操作はタッチ操作でも行えます。

■ フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

 小さな四角（□）ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を **117** と **425** から選べます。

117 のフォーカスエリアポイントを 3×3 、 5×5 、 7×7 の範囲で選べます。

フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、**MENU/OK** ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。

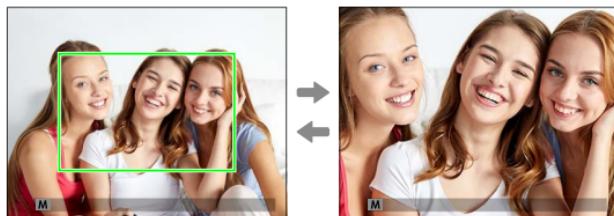
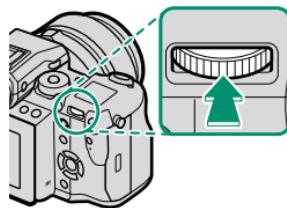
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- ・鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ・ガラス越しの被写体
- ・髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- ・煙や炎などの実体のないもの
- ・背景との明暗差が少ないもの
- ・AFフレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているボタンを押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。工場出荷時の設定では、リアコマンドダイヤルの中央押しにフォーカスチェックが割り当てられています。



通常表示

拡大表示



- ・フォーカスマードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- ・フォーカスマードが **S** のときは、**AF モード**を**シングルポイント**に設定してください。
- ・フォーカスマードが **C** または  **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- ・ **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で、フォーカスチェックを割り当てるボタンを変更できます。

タッチ操作によるピント合わせ

タッチ操作で静止画撮影のピント合わせができます。

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタップするごとに、タッチ操作を変更できます。



タッチパネルモード	内容
AF 	タップした場所にピントを合わせ、AFロックします。シャッターボタンを全押しして撮影します。
エリア選択 	ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動します。
OFF 	タッチ操作を使用しません。

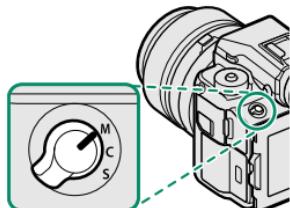


- 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定が OFF のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- フォーカス設定 > タッチパネルモードでもタッチ操作を切り替えることができます。

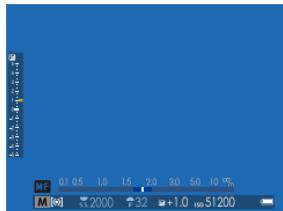
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーをMに設定します。

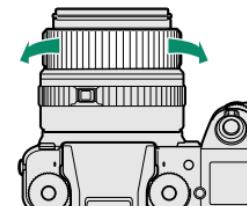


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。



- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリング**で設定できます。
- レンズ側で **M**（マニュアルフォーカス）を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M**（マニュアルフォーカス）で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

- AF ロックまたは **AF-ON** が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリニアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。
- **AF フォーカス設定 > ワンプッシュ AF 時の動作** で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S**（シングル AF）のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C**（コンティニュアス AF）のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表**表示設定 > 距離指標の単位でメートルとフィートを切り替えられます。



拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

AF MF フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

MF フォーカス設定 > **MF アシスト**の設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。

ピーキングで確認する

AF MF フォーカス設定 > **MF アシスト**をフォーカスピーキングに設定すると、コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



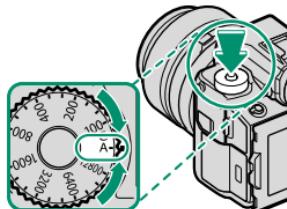
MF リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MF アシスト**の設定を切り替えることができます。

ISO

ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してから感度ダイヤルを回して、ISO 感度を設定します。ISO 感度を設定したらダイヤルロック解除ボタンをもう一度押して、ダイヤルをロックします。



ダイヤル設定	説明
A (オート)	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。■ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定で AUTO1、AUTO2、AUTO3 の設定 выбираете。
C (コマンド)	フロントコマンドダイヤルで 50 ~ 102400 の ISO 感度を変更できます。50 と 25600 以上は拡張感度です。
12800 ~ 100	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

A（オート）設定について

■ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定で感度ダイヤルを A（オート）に合わせたときの基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界を設定できます。AUTO1、AUTO2、AUTO3 にそれぞれ異なった値を設定できます。

それぞれの工場出荷時の設定は以下のようになっています。

	AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度		100	
上限 ISO 感度	800	1600	3200
低速シャッター限界		1/60	

基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

- 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

■ 測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

■ 撮影設定 > 測光で使用する測光モードを設定します。

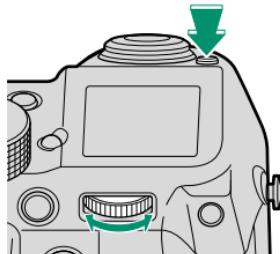
① 測光モードを変更するときは、**■ フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**を**OFF**にしてください。

設定	説明
[•] (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
[◎] (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
[●] (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、 [●] （マルチ）をおすすめします。
[] (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

▣ 露出補正

画像の明るさを調整できます。

▣ (露出補正) ボタンを押しながらリアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。



(!) モードによって補正段数が制限されることがあります。

▣ (露出補正) ボタンについて

- ▣ 操作ボタン・ダイヤル設定 > 露出補正ボタン設定が押下切替のときは、▣ (露出補正) ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。
- ▣ 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、露出補正を割り当てるボタンを変更できます。

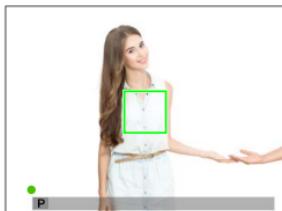
AE/AF ロック撮影

シャッター ボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

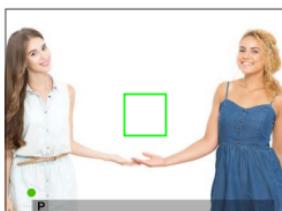
2 シャッター ボタンを半押しします。

被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。



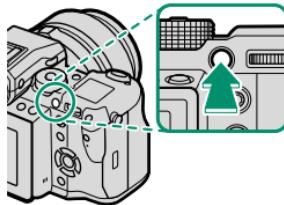
4 そのままシャッター ボタンを全押しして、撮影します。

 シャッター ボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE を ON にしておく必要があります。

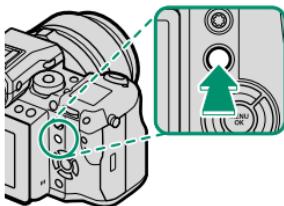
ボタンによる AE/AF ロック

ファンクションボタンで、AE ロック /AF ロック撮影ができます。工場出荷時の設定では、**Fn4** ボタンに AF ロック、**Fn5** ボタンに AE ロックがそれぞれ割り当てられています。

- ファンクションボタンで AE ロック /AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定**を押下切替にすると、ファンクションボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で、各機能に割り当てるボタンを変更できます。



Fn4 (AF ロック)



Fn5 (AE ロック)

BKT ブラケティング撮影

一度シャッター ボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

ライブボタンを押してライブモード選択画面から使用したいブラケティングを選びます。

■ AE ブラケティング

一度シャッター ボタンを押すと、設定に応じて画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら、連続または1コマずつで撮影します。■ 撮影設定 > AE ブラケティング設定で撮影コマ数やステップの幅を設定できます（☞ 106）。

（！）アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定したステップ数で撮影されません。

■ ISO ISO ブラケティング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度は±1、±2/3、±1/3から選べます。

■ フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は■ 撮影設定 > フィルムシミュレーション BKTで設定します。

WB ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから±1、±2、±3ステップの幅を設定できます。

DR ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。



ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO400以上になり、ISO感度を**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3**に設定しているときはISO100～400になることがあります。ダイナミックレンジプラケティングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。



連続撮影（連写）

シャッター ボタンを押し続けている間、連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

ドライブボタンを押してドライブモード選択画面から 連写 を選び、シャッター ボタンを押すと連続撮影します。シャッター ボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ①
- 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
 - 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
 - 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
 - シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスマードによっては、連写速度が変わることがあります。
 - 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
 - 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

露出について

露出を自動で変えながら撮影したいときは、 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE を OFF にしてください。



絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が効にならない場合があります。



多重露出撮影

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



1 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面から 多重露出を選びます。

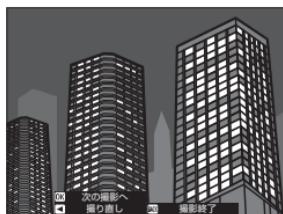
2 1枚目の画像を撮影します。

3 MENU/OKボタンを押します。

2枚目の撮影画面になります。

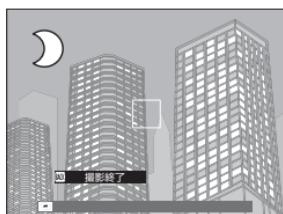


- 1枚目の画像を撮り直す場合は を押してください。
- DISP/BACK** ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



4 2枚目の画像を撮影します。

1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。



5 MENU/OKボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。



- 2枚目の画像を撮り直す場合は を押してください。



! PC撮影時に多重露出撮影はできません (☞ 174)。

MEMO

6 撮影メニュー

I.Q.

撮影メニュー (画質設定)

撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**I.Q.** (画質設定) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

L 4:3	(8256 × 6192)	S 4:3	(4000 × 3000)
L 3:2	(8256 × 5504)	S 3:2	(4000 × 2664)
L 16:9	(8256 × 4640)	S 16:9	(4000 × 2248)
L 1:1	(6192 × 6192)	S 1:1	(2992 × 2992)
L 65:24	(8256 × 3048)	S 65:24	(4000 × 1480)
L 5:4	(7744 × 6192)	S 5:4	(3744 × 3000)
L 7:6	(7232 × 6192)	S 7:6	(3504 × 3000)

 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えると保持されます。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
SUPER FINE	圧縮率が低い最高画質のモードです。
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **SUPER FINE**、**FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（図 182）。再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている 画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
SUPER FINE	SUPER FINE+RAW
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します。「RAW FILE CONVERTER EX 2.0」（図 212）などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落せずに現像できます。非圧縮に比べてファイルサイズが小さくなります。

フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。
 ACROS *	質感が豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 モノクロ *	モノトーンの表現を活かしたモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。

* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。Ye フィルターは青から紫系が濃くなり、R フィルターは青から緑系が深くなります。G フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。

- ・ フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- ・ この設定はショートカット機能でも設定できます (図 176)。
- ・ フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/ja/x-stories/the-world-of-film-simulation-episode-1/>

グレイン・エフェクト

画像にザラつとした粒状の質感を加えます。

設定	説明
強	効果を強くします。
弱	効果を弱くします。
OFF	使用しません。

カラークローム・エフェクト

カラー被写体の陰影を強調します。

設定	説明
強	効果を強くします。
弱	効果を弱くします。
OFF	使用しません。

① 連写やブラケティング撮影時はカラークローム・エフェクトを使用できません。

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白衣でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	■100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
	■200 200%	
■400 400%		コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

① ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

- ②
- ・ダイナミックレンジが AUTO のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
 - ・■200 200%は ISO 感度が ISO 200 以上、■400 400%は ISO 400 以上のときに設定できます。

ホワイトバランス

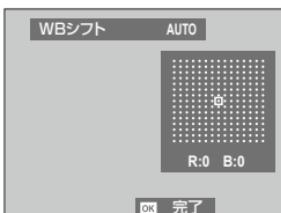
ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
口1/口2/口3	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO/** 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 176）。

WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス（ \square_1 / \square_2 / \square_3 ）を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

 **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押して設定します。

 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



- 「OVER」と表示されたときは - (マイナス) 側に露出補正してから、再度測定してください。

- 「UNDER」と表示されたときは + (プラス) 側に露出補正してから、再度測定してください。

■ K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

■ 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

1 ホワイトバランスの設定画面から K を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



2 ▲▼で色温度を選び、MENU/OKボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

■ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に DISP/BACK ボタンを押してください。

3 ▲▼◀▶でホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 MENU/OKボタンを押します。

色温度が設定されます。

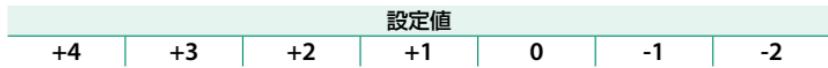
色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。

色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

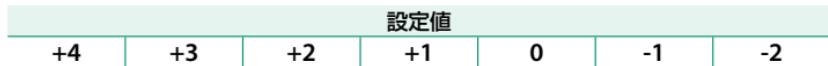
ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。



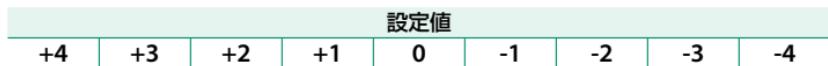
シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。



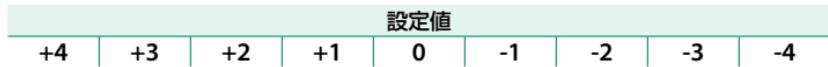
カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。



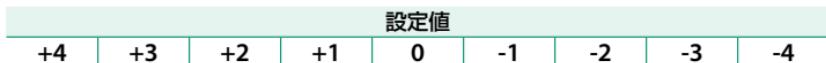
シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。



ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。



長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。



点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみすみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。



色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で**MENU/OK**ボタンを押して、**画質設定**タブを選びます。

2 ピクセルマッピングを選びます。

3 **MENU/OK**ボタンを押して、ピクセルマッピングを実行します。



- 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数秒程度かかることがあります。

カスタム選択

カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

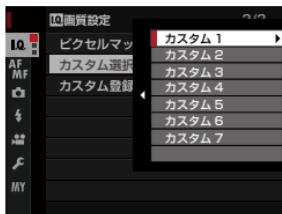
設定	説明
カスタム 1	
カスタム 2	
カスタム 3	
カスタム 4	カスタム登録 / 編集で保存したカスタム 1 ~ 7 設定を呼び出します。
カスタム 5	
カスタム 6	
カスタム 7	

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。保存した設定は、**④ 画質設定** > **カスタム選択**で呼び出せます。

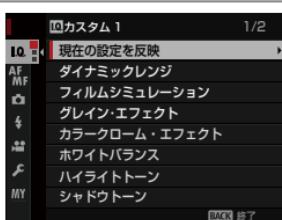
1 撮影メニューから**④ 画質設定** > **カスタム登録/編集**を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

2 設定を保存したい場所をカスタム1～7から選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

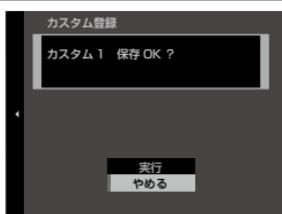


3 カスタムに保存できる項目は、個別に設定を変更できます。保存できる項目は次のとおりです。

- ダイナミックレンジ
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- ホワイトバランス
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- ノイズリダクション



4 **DISP/BACK**ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで**MENU/OK**ボタンを押すと、設定が保存されます。



- ◆** • 現在の設定を反映を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定がカスタム1～7に上書きされます。
- リセットを選択すると、登録されている設定がリセットされます。
- カスタム名編集を選択すると、カスタム1～7の名前を変更できます。

AF
MF

撮影メニュー (フォーカス設定)

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF** (フォーカス設定) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フォーカスエリア選択

フォーカスマードが **S** または **C** のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスマードが **M** のときは、オートフォーカスでピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

AF モード

フォーカスマードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。 AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド / ト racking	<ul style="list-style-type: none"> • フォーカスマードが S のとき (ワイド) : シャッター ボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。 • フォーカスマードが C のとき (ト racking) : フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッター ボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 <p>小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときのフォーカスエリアポイントの位置を別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF スピードアップ

ON にすると、AF 制御を高速に設定できます。オートフォーカス中のライブビュー画質が劣化する場合があります。

設定値
ON
OFF

AF ポイント表示

AF フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド / ト racking のときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値
ON
OFF

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117 点 (13×9)	117 点 (13×9) のフォーカスエリアポイントから選べます。
425 点 (25×17)	425 点(25×17)のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

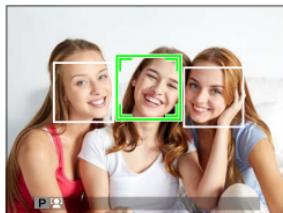
ON にすると、シャッター ボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	
	OFF

! **ON** にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を **ON** にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF** を **ON** にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- !** • 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
• 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

- ◆** • 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
• カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、他の顔の上に白い枠が表示されます。
• 縦位置撮影時も顔を検出できます。
• メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
• この設定はショートカット機能でも設定できます (☞ 176)。

AF+MF

ON になると、フォーカスモードが **S** 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）のときにフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF
<p>!<ul style="list-style-type: none"> 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを S、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。 </p>	

 **MF アシスト**でフォーカスピーキングを選んでいる場合は、フォーカスピーキングでピントの確認ができます。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

 フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** になると、**AF モード**がシングルポイントのときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回すと 2.5 倍、4 倍、8 倍、16.7 倍に切り替えることができます。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

フォーカスチェック

ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF
 • リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。 • 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。	

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光が **[■]** スポットで **AF モード** がシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

ワンプッシュ AF 時の動作

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）の **AF ロック** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

タッチパネルモード

液晶画面（LCD）のタッチ操作で、静止画撮影のピント合わせができます。

設定	説明
AF	タップした場所にピントを合わせ、AF ロックします。シャッター ボタンを全押しして撮影します。
エリア選択	ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動します。
OFF	タッチ操作を使用しません。

 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定が OFF のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

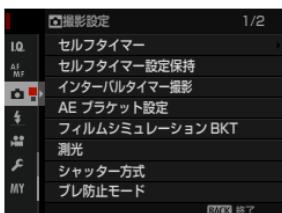


撮影メニュー (撮影設定)

撮影時の設定を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**■** (撮影設定) タブを選びます。

■ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



セルフタイマー

シャッター ボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがかかるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

設定	説明
2秒	シャッター ボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがかかるります。シャッター ボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマー ランプが点滅します。
10秒	シャッター ボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがかかるります。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマー ランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

! シャッター ボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。

セルフタイマー設定保持

ON のときは、セルフタイマー撮影後に続けてシャッター ボタンを押すと、設定されている時間でセルフタイマー撮影できます。また、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定は維持されます。

設定値

ON

OFF

インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから  撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OKボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



- 2  で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OKボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



- 3  で開始時間を設定し、MENU/OKボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



 パルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

-  三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。別売のACパワーアダプターAC-15Vをご使用ください。
 - インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
 - 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
 - 撮影回数を∞に設定すると、メモリーカードに空きがなくなるまで撮影します。

AE ブラケティング設定

AE ブラケティング撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AE ブラケティングで撮影するコマ数と明るさの変化量(ステップ数)を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">コマ数:撮影するコマ数を選びます。ステップ数:明るさの変化量を選びます。
1コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none">1コマ:シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。連続:シャッターボタンを1度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。
撮影順序設定	AE ブラケティングの撮影順序を設定できます。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する3枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ設定します。

設定	説明
PROVIA/ スタンダード	
Velvia/ ビビッド	
ASTIA/ ソフト	
クラシッククローム	各フィルムの特徴は「フィルムシミュレーション」(88)を参照してください(ACROSと
PRO Neg. Hi	
PRO Neg. Std	モノクロは、さらにYe、R、Gのフィルターを選べます)。
ACROS	
モノクロ	
セピア	

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

- ① **測光モード**を変更するときは、**MF フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**を**OFF**にしてください。

設定	説明
[●] マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、 [●] （マルチ）をおすすめします。
[◎] 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
[●] スポット	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
[] アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。**ES 電子シャッター**または**MS メカニカル+ES 電子**に設定すると、シャッタースピードダイヤルを**4000**にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。**ECS 電子先幕シャッター**に設定していても高速シャッターを使用すると、**MS メカニカルシャッター**になります(図 254)。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
ECS 電子先幕シャッター	シャッターボタンを押してから露光開始までの時間を短縮して撮影できます。
MS メカニカル+ES 電子	カメラが状況に応じて メカニカル または 電子シャッター で撮影します。
ECS 電子先幕+ES 電子	カメラが状況に応じて 電子先幕 または 電子シャッター で撮影します。

① 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。

- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
- 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
- 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
- シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。

② 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 12800 ~ 100 に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。

ブレ防止モード

手ブレを軽減します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードがCのときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時はOFFにすることをおすすめします。OFFのときは、  が表示されます。

 手ブレ補正対応レンズ装着時のみ有効です。

感度 AUTO 設定

感度ダイヤルをA(オート)に合わせたときの基準ISO感度、上限ISO感度、低速シャッター限界を設定できます。AUTO1、AUTO2、AUTO3にそれぞれ異なった値を設定できます。

それぞれの工場出荷時の設定は以下のようになっています。

	AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度		100	
上限 ISO 感度	800	1600	3200
低速シャッター限界		1/60	

基準ISO感度と上限ISO感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的にISO感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

-  • 上限ISO感度よりも基準ISO感度を高く設定している場合は、上限ISO感度で設定されているISO感度で撮影されます。
- 基準ISO感度と上限ISO感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

マウントアダプター設定

マウントアダプターを装着したときの設定を行います。

シャッター選択

レンズシャッター付きレンズをご使用の場合は、シャッター制御をボディ（カメラ本体）で行うか、レンズのシャッターで行うかを選びます。

① ご使用になるレンズによっては、機能しない場合があります。

レンズ登録

レンズ1～レンズ6にそれぞれレンズの設定を登録できます。OFFを選ぶとレンズの補正は行いません。

焦点距離設定

ご使用になるレンズの実焦点距離を▲▼◀▶で設定します。



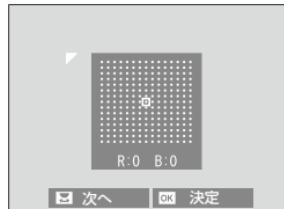
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。タル型と糸巻き型の補正を、それぞれ強、中、弱の3段階で補正できます。



色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。

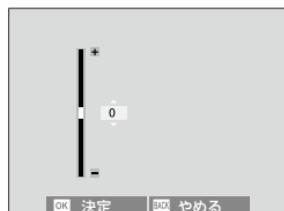


- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 **▲▼◀▶**で補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - レッド / シアン（横軸方向）: $-9 \sim +9$ の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - ブルー / イエロー（縦軸方向）: $-9 \sim +9$ の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。

 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、 $-5 \sim +5$ と **0**（ゼロ）の計 11 段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。

 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>



撮影メニュー (フラッシュ設定)

撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**Flash (フラッシュ設定)** タブを選びます。

◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル」をご覧ください (☞ 197)。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光+補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。



- ・赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- ・顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- ・RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。

 •	TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに TTL-LOCK を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます (図 182)。 • ロックしていても調光補正是できます。 • 直前の発光条件でロックを設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。
--	---

LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光 + キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。

 フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。
--

MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスター フラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップ オンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

 フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4

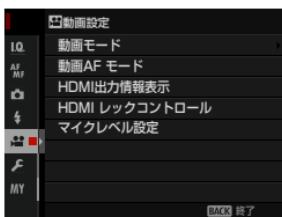


撮影メニュー (動画設定)

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、 (動画設定) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定	説明
HD 1080/29.97P	フレームレートが 29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1920 × 1080 の動画
HD 1080/25P	
HD 1080/24P	
HD 1080/23.98P	
HD 720/29.97P	フレームレートが 29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1280 × 720 の動画
HD 720/25P	
HD 720/24P	
HD 720/23.98P	

動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選びます。

HDMI 出力情報表示

ON になると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	
OFF	

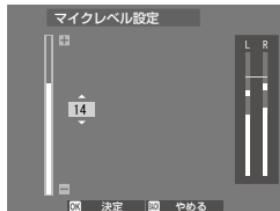
HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッター ボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	
OFF	

マイクレベル設定

内蔵マイクまたは外部マイクの音量を調節できます。



設定	説明
20 ~ 1	マイクレベルを調節してください。
OFF	マイクレベルをオフにします。

- マイクレベルは、ピーカー値を一定時間保持して表示します。
- 録音中でもマイクレベルを変更できます。ファンクションボタンに**マイクレベル設定**を割り当てておくと、動画記録中に割り当てたファンクションボタンを押してマイクレベルを調節できます。

MEMO

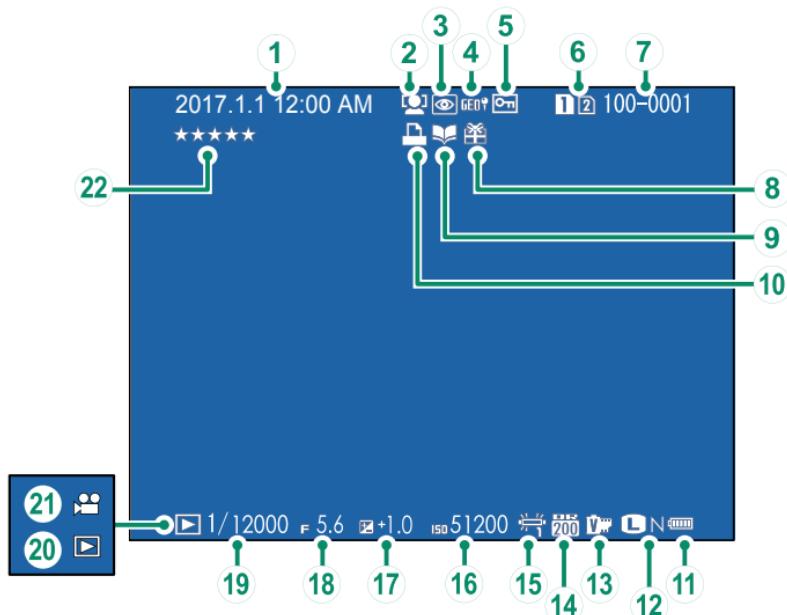
7

画像の再生と再生メニュー

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

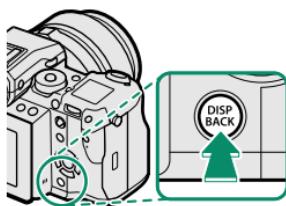
① 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻	37, 147	⑬ フィルムシミュレーション	88
② 顔検出	100	⑭ ダイナミックレンジ	89
③ 赤目補正	113, 135	⑮ ホワイトバランス	90
④ 位置情報	173, 210	⑯ ISO 感度	74
⑤ プロテクト	133	⑰ 露出補正	77
⑥ カードスロット	126	⑱ 絞り値	53, 58, 60
⑦ コマ NO.	169	⑲ シャッタースピード	53, 54, 60
⑧ プレゼント	43	⑳ 再生モード	43
⑨ フォトブックアシスト	139	㉑ 動画アイコン	49
⑩ プリント予約	141	㉒ お気に入り	121
⑪ バッテリー残量表示	36		
⑫ 画像サイズ	86		
画質モード	87		

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



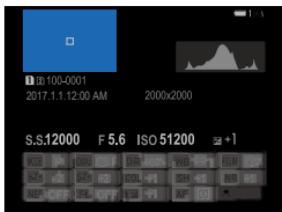
スタンダード



情報表示なし



お気に入り



INFO 画面について

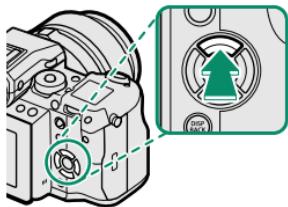
INFO 画面表示中に ▲ を押すと、INFO 画面 1、2 とヒストグラム表示に切り替えることができます。

お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

撮影時の情報確認

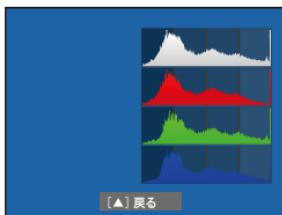
1コマ再生時に▲を押すと撮影時の情報を確認できます。



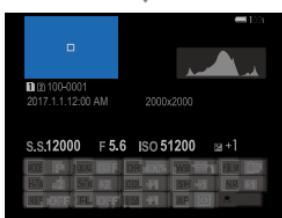
1コマ再生



ヒストグラム



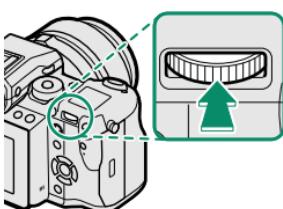
INFO画面2



INFO画面1

ピントの位置を拡大表示する

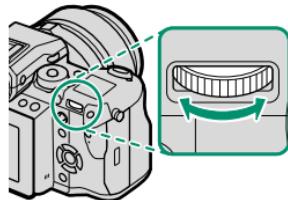
リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1コマ再生に戻ります。



再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



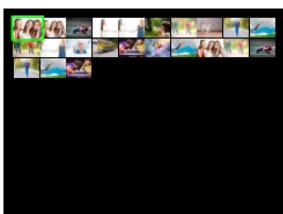
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



DISP/BACK
MENU/OK



拡大再生 1



拡大再生 2



再生ズーム

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。



- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ** によって変わります。
- 再生メニュー > リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

拡大表示中に **▲▼◀▶** で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

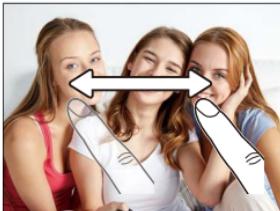


- ▲▼◀▶** で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- ▲** または **▼** でページを切り替えることもできます。

タッチ操作による再生

操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定が **ON** のときは、1コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ



画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。

ダブルタップ



画面を2回タップすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。

マルチタッチ（ピンチアウト）



画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。

ドラッグ



拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。

マルチタッチ（ピンチイン）



画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、拡大画像を縮小表示できます。1コマ再生画面時は、マルチ再生できます。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードを選びます。

■ ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像するRAW画像を選びます。

2 回 再生メニュー > RAW現像を選びます。

3 MENU/OKボタンを押します。

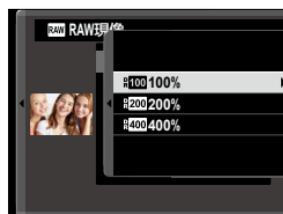
設定できる機能の一覧が表示されます。

 RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、
RAW 現像を表示できます。



4 ▲▼で変更する項目を選びます。

5 ▶で設定の変更に移ります。



6 ▲▼で設定を変更します。

7 MENU/OKボタンを押して、決定します。

手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Qボタンを押します。

保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OKボタンを押します。

JPEG 画像が保存されます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存するファイル形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白飛びを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を加えます。
カラークローム・エフェクト	カラー被写体の陰影を強調します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

- ① 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1コマ消去

- 1 消去メニューから1コマを選びます。

- 2 消去する画像を◀または▶で選んでからMENU/OKボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- ②
- MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
 - MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を◀または▶で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

■ 複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を▲▼◀▶で選んでMENU/OKボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACKボタンを押します。消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、MENU/OKボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

 プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、■ が表示されます。

■ 全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、MENU/OKボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

 • DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2  再生メニュー>トリミングを選びます。

3 リアコマンドダイヤルとセレクターでトリミングしたい部分を調整します。

4 MENU/OKボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。

5 MENU/OKボタンを押して、トリミングします。



- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行った後の記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 回 再生メニュー > リサイズを選びます。

3 変更するサイズを選び、MENU/OKボタンを押します。

4 MENU/OKボタンを押して、トリミングします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロジェクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロジェクトできます。

1 回再生メニュー>プロジェクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 • 手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選びます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OKボタンを押して、プロテクトを設定/解除します。

4 DISP/BACKボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 回再生メニュー > 画像回転を選びます。

3 セレクターボタンの▼（時計回りに90° 回転）または▲（反時計回りに90° 回転）で画像を回転します。

4 MENU/OKボタンを押して、回転を決定します。



- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- **表示設定 > 縦横自動回転再生を ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 回 再生メニュー>赤目補正を選びます。

3 MENU/OKボタンを押して、赤目補正を開始します。



- ・顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- ・顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ・赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。
- ・RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

ボイスメモ設定

静止画に最長 30 秒間の音声を記録できます。

1 回再生メニュー>ボイスメモ設定をONにします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、 が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に MENU/OK ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して再生音量を選び、MENU/OK ボタンで決定します。再生音量は、 音設定 > 再生音量でも設定できます。

画像コピー

カメラのメモリーカードスロット1(以下、スロット1)に装着したメモリーカードとメモリーカードスロット2(以下、スロット2)に装着したメモリーカードとの間で、画像をコピーできます。

1 **再生メニュー** > **画像コピー** を選びます。

2 コピーの方法を選びます。

設定	説明
スロット1 ➔ スロット2	スロット1のメモリーカードの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット2 ➔ スロット1	スロット2のメモリーカードの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。

3 ▶を押します。

4 コピーするコマ数を選びます。

設定	説明
1コマ	表示中の画像をコピーします。 ・手順5のあとに◀または▶で、続けてコピーする画像を選べます。
全コマ	すべての画像をコピーします。

5 **MENU/OK**ボタンを押して、コピーを開始します。

! コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。

 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 回再生メニュー > フォトブックアシストを選びます。

2 新規BOOK選び、MENU/OKボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

▲で表示されている画像を選択または選択解除し、▼で表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から▼で変更することもできます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OKボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OKボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

■ 作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

■ 作成したフォトブックを編集 / 削除する

1 作成したフォトブックを表示しているときに**MENU/OK**ボタンを押します。

2 編集または削除を選びます。

- **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
- **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。

3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集/削除します。

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 回 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 DPOF指定する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大99枚)。

 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。



プリント枚数

5 プリントしたいすべての画像に対して手順3と4を行います。

6 合計枚数を確認して、もう一度MENU/OKボタンを押します。

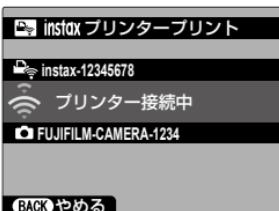
-  • DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめ **接続設定** > **instax プリンタ接続設定**で、instax SHARE プリンターのプリンターナー名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 回 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

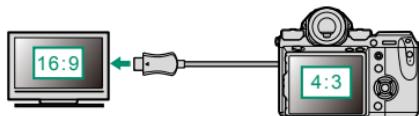


• 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
• プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

4:3 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



	設定	
	16:9	4:3
イメージ		

 **16:9** で撮影された画像は **16:9** に設定してください。**4:3** で撮影された画像を再生すると、左右に黒い枠が表示されます。

MEMO

8

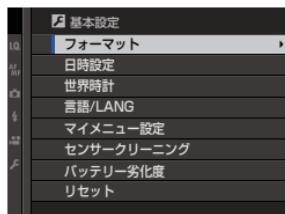
セットアップメニュー



セットアップメニュー (基本設定)

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**▲** (セットアップ) タブを選び、**基本設定**を選びます。



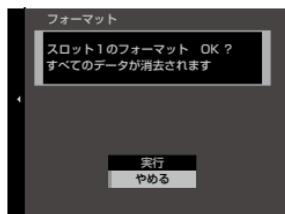
フォーマット

メモリーカードをフォーマット (初期化) します。

1 セットアップメニューから**▲** 基本設定 > フォーマットを選びます。

2 フォーマットしたいメモリーカードが入っているスロット (スロット1/スロット2) を選びます。

3 **MENU/OK**ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



4 **▲**で実行を選び、**MENU/OK**ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。



- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。



▲ (消去) ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから  基本設定 > 日時設定を選びます。
- 2   で年月日の並び順を選びます。
- 3   で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、   で設定する数字を選びます。
- 4 MENU/OKボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

- 1  現地を選び、 MENU/OKボタンを押します。
- 2   で設定する項目 (+/-、時、分) を選び、   で設定する数字を選びます。
- 3 MENU/OKボタンを押します。

  現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に  と日時が約3秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

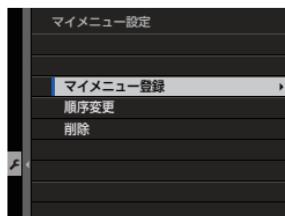
マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **マイメニュー** に登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。

メニューが表示されます。

■ **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。



2 **▲▼** でマイメニュー登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

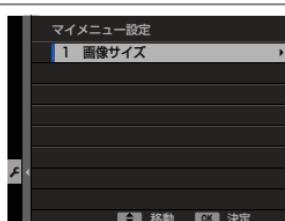
登録可能なメニューが青文字で表示されます。

■ 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。



3 登録するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニューが登録されます。



4 **MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。

5 手順3と4を繰り返して、マイメニューを登録します。

■ 最大 16 項目 (8 × 2 ページ) のメニューが登録できます。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手動でセンサーをクリーニングしてください。

バッテリー劣化度

バッテリーの劣化状態をチェックできます。カメラ本体と縦位置バッテリーグリップに装着されているバッテリーをそれぞれ 0 ~ 4 の劣化状態を目盛りの位置で表示します。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選び▶を押すと、確認画面が表示されます。

設定	説明
撮影メニュー リセット	撮影メニューのカスタム登録 / 編集の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容、ワイヤレス通信の内容以外がリセットされます。
セットアップ リセット	セットアップメニューの日時設定と世界時計以外がリセットされます。

2 実行を選んでMENU/OKボタンを押します。



セットアップメニュー (音設定)

カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**音設定**を選びます。



AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
🔊 (Large icon)	音量「大」に設定します。
🔊 (Medium icon)	音量「中」に設定します。
🔊 (Small icon)	音量「小」に設定します。
🔇 (Speaker icon with a slash)	消音に設定します。

セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
🔊 (Large icon)	音量「大」に設定します。
🔊 (Medium icon)	音量「中」に設定します。
🔊 (Small icon)	音量「小」に設定します。
🔇 (Speaker icon with a slash)	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
🔊 (Large icon)	音量「大」に設定します。
🔊 (Medium icon)	音量「中」に設定します。
🔊 (Small icon)	音量「小」に設定します。
🔇 (Speaker icon with a slash)	消音に設定します。

ヘッドホン音量

ヘッドホン使用時の音量（0～10）を設定します。

シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
音量「大」	音量「大」に設定します。
音量「中」	音量「中」に設定します。
音量「小」	音量「小」に設定します。
消音	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1	シャッター音 1 に設定します。
♪2	シャッター音 2 に設定します。
♪3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

動画再生時の音量（0～10）を設定します。

settup-menu

セットアップメニュー (表示設定)

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**settup-menu** (セットアップ) タブを選び、**表示設定**を選びます。



EVF 明るさ

EVF (ファインダー) の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	+5 ~ -5 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF (ファインダー) の鮮やかさを調整できます。

設定値											
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5	

LCD 明るさ

LCD (液晶モニター) の明るさを調整できます。

設定値											
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5	

LCD 鮮やかさ

LCD (液晶モニター) の鮮やかさを調整できます。

設定値											
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5	

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 /0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー (EVF) または液晶モニター (LCD) の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	
	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（M）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。タンクス テンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わった場合は OFF にしてください。

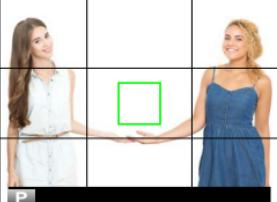
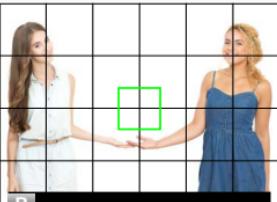
モニター撮影効果反映

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。
OFF	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
■ 方眼 9分割	縦横にガイド線が表示されます（9コマ）。	
■ 方眼 24分割	縦横にガイド線が表示されます（24コマ）。	
■ HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。PC 撮影機能を使用すると、任意のフレーミングガイドに変更できます。	

-  フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください（[158](#)）。
- フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください（[158](#)）。
 - PC 撮影機能は「Adobe® Photoshop® Lightroom®」または「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」（別売）で使用できます。「Adobe® Photoshop® Lightroom®」で、HD フレーミングをカスタマイズするには、別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」が必要です。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値

ON

OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます。

1 「スタンダード」画面になるまで**DISP/BACK**ボタンを押します。

2 セットアップメニューから**表示設定** > **画面のカスタマイズ**を選びます。

3 表示したい項目を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	タッチパネルモード	<input checked="" type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input checked="" type="checkbox"/>
ライブビューハイライト警告	<input type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input checked="" type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>
絞り / シャッター速度 / ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>
情報表示背景	<input checked="" type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正ゲージ	<input checked="" type="checkbox"/>	マイクレベル設定	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスマード	<input checked="" type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input checked="" type="checkbox"/>
測光	<input checked="" type="checkbox"/>	画面枠	<input type="checkbox"/>

4 表示したい項目を選び、**DISP/BACK**ボタンを押します。

設定が保存されます。

5 **DISP/BACK**ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

サブ液晶モニター設定

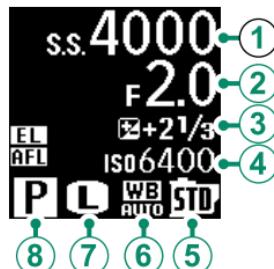
撮影時のサブ液晶モニターに表示したい項目を設定できます。静止画撮影時と動画撮影時をそれぞれ別々に設定できます。

1 セットアップメニューから  表示設定 > サブ液晶モニター設定を選びます。

2 静止画撮影時または動画撮影時を選びます。

3 表示位置①～⑧に表示する項目をそれぞれ選び、MENU/OKボタンを押します。

「*」の付いている項目は動画撮影時に表示可能な項目です。



表示位置 ①～④（テキストエリア）

- シャッター速度*
- 絞り*
- 露出補正表示*
- 感度*
- 動画モード*
- 撮影枚数
- 録画時間*
- なし*

表示位置 ⑤～⑧（アイコンエリア）

- 撮影モード*
- 測光*
- ドライブモード
- フォーカスマード*
- ホワイトバランス*
- 画像サイズ
- 画質モード
- バッテリー残量表示*
- カーデスロット設定*
- シャッター方式
- フィルムシミュレーション*
- ダイナミックレンジ
- 動画モード
- なし*

4 DISP/BACKボタンを押します。

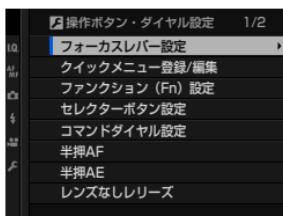
設定が保存されます。

【F】セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
◎ ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1** セットアップメニューから  操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録/編集を選びます。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

- 2** 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|----------------|----------------|
| ○画像サイズ | ○顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| ○画質モード | ○MF アシスト |
| ○フィルムシミュレーション | ○セルフタイマー |
| ○グレイン・エフェクト | ○測光 |
| ○カラークローム・エフェクト | ○シャッター方式 |
| ○ダイナミックレンジ | ○タッチパネルモード |
| ○ホワイトバランス | ○フラッシュ機能設定 |
| ○ハイライトトーン | ○フラッシュ調光補正 |
| ○シャドウトーン | ○動画モード |
| ○カラー | ○マイクレベル設定 |
| ○シャープネス | ○EVF/LCD 明るさ |
| ○ノイズリダクション | ○EVF/LCD 鮮やかさ |
| ○カスタム選択 | ○なし |
| ○AF モード | |



- 印はカスタム登録が可能なメニューです。
- なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

- 3** 割り当てるメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。

-  クイックメニューの割り当てでは、撮影画面で **Q** ボタンを長押ししても変更できます。

ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

- 1 セットアップメニューから  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定を選びます。
- 2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、MENU/OKボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- AF スピードアップ
- フォーカスチェック
- AF モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- 測光
- シャッター方式
- 感度 AUTO 設定
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- マイクレベル設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- モニター撮影効果反映
- ヒストグラム
- 電子水準器
- AE LOCKのみ
- AF LOCKのみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- ロック指定
- 再生モード
- なし

- 3 割り当てる機能を選び、MENU/OKボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、DISP/BACK ボタンを長押ししても変更できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押しの状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**フラッシュ設定** > **TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます（ 114）。

セレクターボタン設定

セレクターボタンの設定を変更できます。

設定	説明
Fn ボタン	ファンクションボタンとして機能します。
フォーカスエリア	セレクターボタンでフォーカスエリアを選択できます。

 **フォーカスエリア**のときは、ファンクションボタンに割り当てられている機能は使用できなくなります。

コマンドダイヤル設定

絞り値とシャッタースピードを操作するコマンドダイヤルのフロントとリアを入れ換えることができます。

設定	説明
▲F 値 ▾S.S.	フロントコマンドダイヤルを絞り値、リアコマンドダイヤルをシャッタースピードに設定します。
▲S.S. ▾F 値	フロントコマンドダイヤルをシャッタースピード、リアコマンドダイヤルを絞り値に設定します。

半押し AF

ON にすると、シャッター ボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

設定	説明
ON	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスマードが S のとき (AF-S)：シャッター ボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。 フォーカスマードが C のとき (AF-C)：シャッター ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。
OFF	シャッター ボタンを押してもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ONにすると、シャッターボタン半押し時にAEロック（露出を固定）します。

設定値	
ON	OFF

 連写時に露出を追従させたいときは、**OFF**にしてください。

レンズなしレリーズ

ONにすると、レンズを未装着でシャッターが切れます。

設定値	
ON	OFF

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスマードが**M**のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
 時計回り	フォーカスリングの回転方向を  時計回りに設定します。
 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を  反時計回りに設定します。

AE/AF-LOCK 設定

AEロックまたはAFロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう1度ボタンを押すと解除されます。

露出補正ボタン設定

露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 押下中のみ (P)	ボタンを押している間、リアコマンドダイヤルで露出を補正できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 押下切替 (S)	ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。

タッチパネル設定

液晶画面 (LCD) のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

設定値	
ON	
	OFF

ロック

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none"> 解除：ロック指定を解除します。 全てロック：機能別ロック設定で選択できる全てのボタンや機能を一括でロックします。 機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

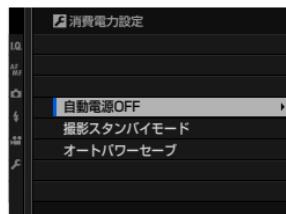
 MENU/OK ボタンを長押ししてもボタンロックできますが、セレクターボタンと  ボタンのみのロックとなります (☞ 5)。



セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F**（セットアップ）タブを選び、**消費電力設定**を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	
2分	
1分	
30秒	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

撮影スタンバイモード

撮影スタンバイモードになるまでの時間を設定できます。

設定	説明
5分	
2分	
1分	
30秒	設定した時間、カメラを操作しないと、サブ液晶モニター以外のカメラ機能が休止し、省電力モードになります。
15秒	
OFF	撮影スタンバイモードは使用しません。

オートパワーセーブ

バッテリーを長持ちさせるモードに設定できます。

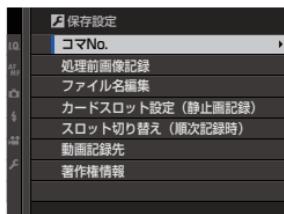
設定	説明
ON	一定時間何も操作しないでいると、フレームレートが低下して、自動的にバッテリーを長持ちさせるモードになります。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。
OFF	オートパワーセーブは使用しません。



セットアップメニュー (保存設定)

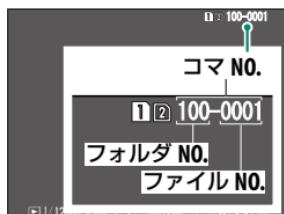
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**■** (セットアップ) タブを選び、**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO. (フォルダ NO. 一ファイル NO.) の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れたたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- ・コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- ・**■ 基本設定 > リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- ・他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値	
ON	
	OFF

ファイル名編集

ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

 ファイル名編集はタッチ操作でも行えます。

カードスロット設定 (静止画記録)

2枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。
RAW/JPEG 分割記録	メモリーカードスロット1のメモリーカードにはRAW画像を、メモリーカードスロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。

スロット切り替え (順次記録時)

カードスロット設定 (静止画記録) が順次記録のときに、記録するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

設定値	
スロット1	
	スロット2

動画記録先

動画を記録するメモリーカードスロットを変更できます。

設定	説明
スロット1	動画ファイルをメモリーカードスロット1に挿入されているメモリーカードに記録します。
スロット2	動画ファイルをメモリーカードスロット2に挿入されているメモリーカードに記録します。

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像のExif情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。

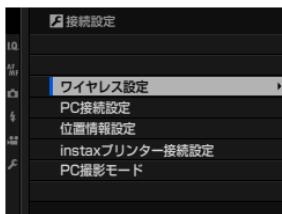
 著作権情報の入力はタッチ操作でも行えます。



セットアップメニュー (接続設定)

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**接続設定**を選びます。



ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
共通設定	<ul style="list-style-type: none">名前：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。設定初期化：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。
スマートフォン 送信時 3M 圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。スマートフォン送信時 3M 圧縮を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 <ul style="list-style-type: none">ON：画像サイズを 3M に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。OFF：元画像のサイズのままで送信します。

PC 接続設定

PC の接続先を設定します。

設定	説明
簡単設定	無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、接続先 (PC) を設定します。
手動設定	無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、接続先 (PC) を設定します。

無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

設定	説明
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。

位置情報の取得方法については、以下のサイトをご覧ください。

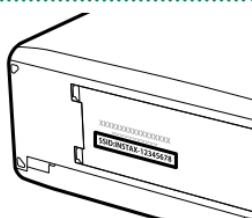
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



PC 撮影モード

PC 撮影機能を使用して撮影（テザー撮影）するときのモードを設定します。

設定	説明
OFF	PC 撮影機能を使用しないときに選びます。
USB 自動	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に PC 撮影モードになります。接続していないときは OFF と同じ通常のカメラとして動作します。
USB 固定	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続していない時も PC 撮影モードになります。工場出荷時の設定では撮影画像がメモリーカードに記録されません。PC 撮影中に USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、撮影画像がパソコンに転送、保存されます。

 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** の設定は、PC 撮影中も有効になります。PC 撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。

 「Adobe® Photoshop® Lightroom®」、「HS-V5」、「FUJIFILM X Acquire」を使用すると、PC 撮影機能が使用できます。「Adobe® Photoshop® Lightroom®」を使用する場合は別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」または別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」が必要です。「HS-V5」を使用する場合は、別売の「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」が必要です。「FUJIFILM X Acquire」は富士フィルムのホームページから無償でダウンロードできます。

9

ショートカット機能

ショートカット機能について

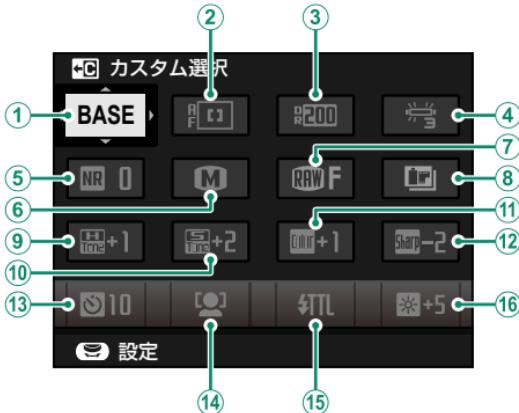
用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューを **Q** メニュー やマイメニューに登録して使用したり、**Fn** (ファンクション) ボタンで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	図
Q メニュー	Q ボタンを押すと Q メニューが表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q メニューで設定値を変更することもできます。	177
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MY (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	184
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能を呼び出すことができます。	180

Q (クイックメニュー) ボタン

Qボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。



工場出荷時の設定

① カスタム選択	⑨ ハイライトトーン
② AF モード	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ ノイズリダクション	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュ機能設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

各メニュー (②～⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ換えることができます。

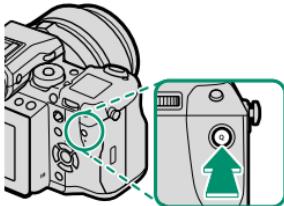
カスタム選択について

カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

- **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- **C1～C7** : **画質設定** > **カスタム登録** / **編集**で登録されたカスタム設定を表示します。
- **C1～C7** : 読み込まれたカスタム設定を表示します。

設定の確認と変更

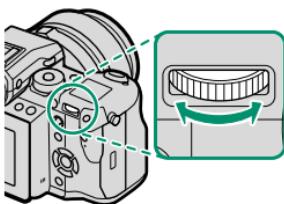
- 1 撮影画面でQボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目を▲▼◀▶で選択します。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。
- 各設定内容を変更して読み込めますが、カスタム登録設定内容は変更できません。
 - C1～C7 を選択中にカスタム登録項目を変更すると赤いマークがつきます。



- 4 Qボタンを押します。
- 表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

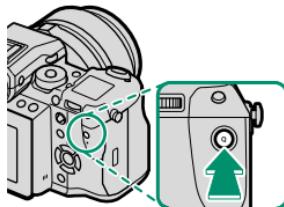
 クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 撮影画面でQボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|----------------|----------------|
| ○画像サイズ | ○顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| ○画質モード | ○MF アシスト |
| ○フィルムシミュレーション | ○セルフタイマー |
| ○グレイン・エフェクト | ○測光 |
| ○カラークローム・エフェクト | ○シャッター方式 |
| ○ダイナミックレンジ | ○タッチパネルモード |
| ○ホワイトバランス | ○フラッシュ機能設定 |
| ○ハイライトトーン | ○フラッシュ調光補正 |
| ○シャドウトーン | ○動画モード |
| ○カラー | ○マイクレベル設定 |
| ○シャープネス | ○EVF/LCD 明るさ |
| ○ノイズリダクション | ○EVF/LCD 鮮やかさ |
| ○カスタム選択 | ○なし |
| ○AF モード | |



- ・印はカスタム登録が可能なメニューです。
- ・なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- ・カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

3 割り当てるメニューを選び、MENU/OKボタンを押します。

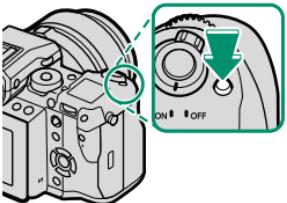
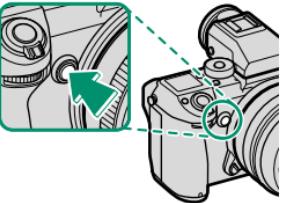
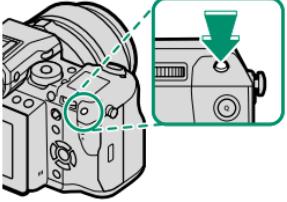
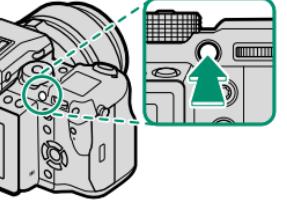
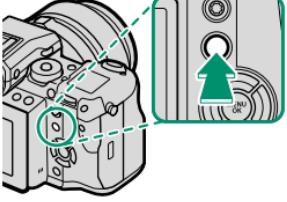
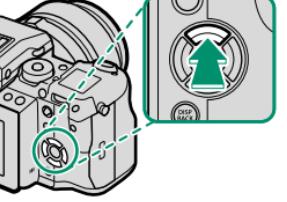
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

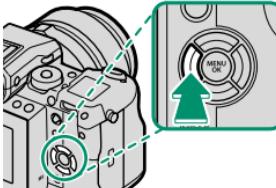
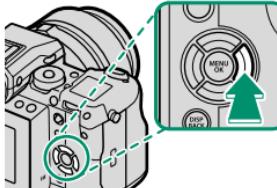
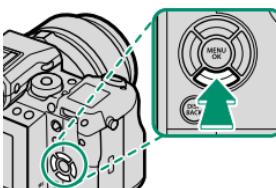
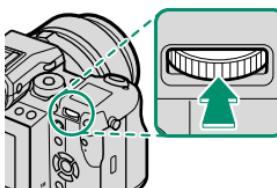
■ クイックメニューの割り当ては、**■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集** からも設定できます。

Fn (ファンクション) ボタン

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。

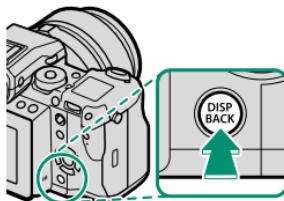
Fn1 ボタン	Fn2 ボタン
 露出補正	 AE ブラケティング設定
Fn3 ボタン	Fn4 ボタン
 ヒストグラム	 AF LOCK のみ
Fn5 ボタン	Fn6 ボタン
 AE LOCK のみ	 AF モード

Fn7 ボタン	Fn8 ボタン
 フィルムシミュレーション	 ホワイトバランス
Fn9 ボタン	リアコマンドダイヤル中央押し
 AF スピードアップ	 フォーカスチェック

ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。

1 撮影画面で**DISP/BACK**ボタンを長押しします。



2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- AFスピードアップ
- フォーカスチェック
- AFモード
- 顔検出/瞳AF設定
- セルフタイマー
- AEブレケティング設定
- 測光
- シャッター方式
- 感度 AUTO 設定
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- マイクレベル設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出/WB反映
- モニター撮影効果反映
- ヒストグラム
- 電子水準器
- AE LOCKのみ
- AF LOCKのみ
- AE/AE LOCK
- AF-ON
- ロック指定
- 再生モード
- なし

3 割り当てる機能を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**からも設定できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押しの状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

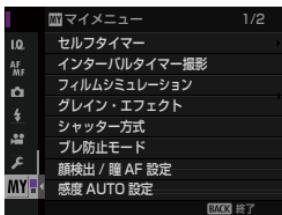
TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます (図 114)。



マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY**（マイメニュー）タブを選びます。



! **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY**（マイメニュー）タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY**（マイメニュー）タブを選ぶと表示されます。

1 セットアップメニューの **■ 基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。

メニューが表示されます。



! **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。 **削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

2 **▲▼** でマイメニュー登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

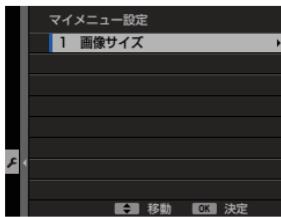
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



! 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

- 3 登録するメニューを選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

マイメニューが登録されます。



- 4 **MENU/OK**ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。

- 5 手順3と4を繰り返して、マイメニューを登録します。

 最大 16 項目 (8 × 2 ページ) のメニューが登録できます。

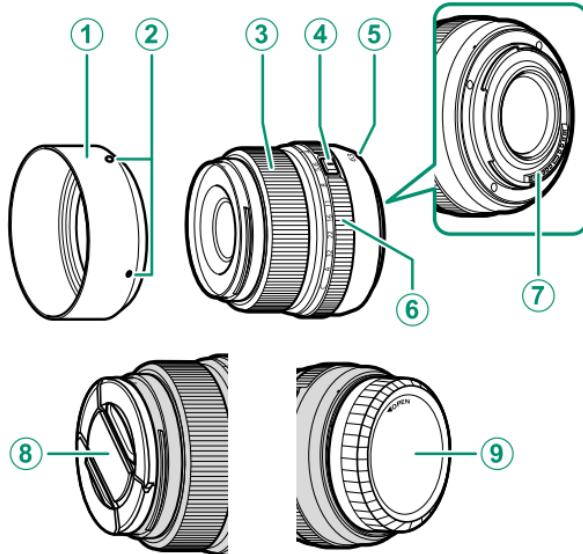
MEMO

10 オプション品・ 外部機器の使い方

交換レンズ

このカメラでは、富士フイルム製のFUJIFILM Gマウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ 絞りリングロック解除ボタン
- ⑤ 取り付け指標（焦点距離）

- ⑥ 絞りリング
- ⑦ レンズ信号接点
- ⑧ レンズフロントキャップ
- ⑨ レンズリアキャップ

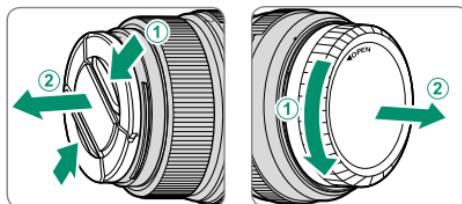
 ここでは、GF63mmF2.8 R WRを例に説明しています。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、プロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

レンズキャップの取り外し方

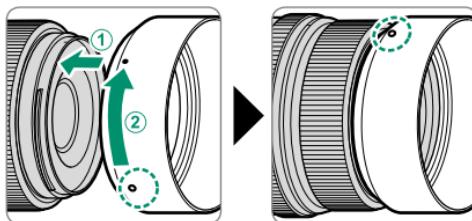
図のようにレンズキャップを取り外します。



① レンズキャップは形状が異なることがあります。

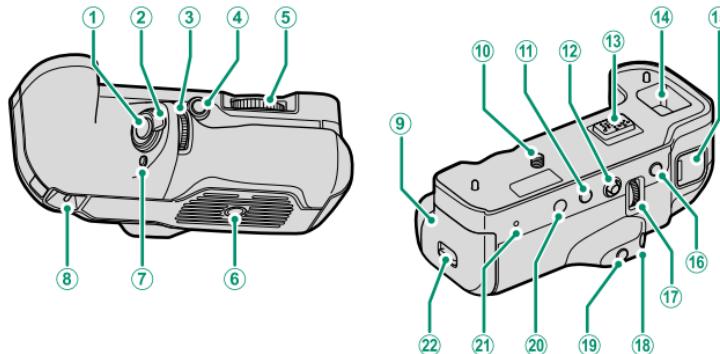
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。



縦位置バッテリーグリップ

別売の縦位置バッテリーグリップ VG-GFX1 を装着すると、カメラ本体のバッテリーと合わせてバッテリー容量を増加させることができます。また、縦位置撮影の操作性が向上します。



- ① シャッターボタン
- ② キーロックレバー
- ③ フロントコマンドダイヤル
- ④ Fn2 ボタン
- ⑤ 着脱ダイヤル
- ⑥ 三脚ねじ穴
- ⑦ Fn1 ボタン
- ⑧ ストラップ取り付け部
- ⑨ バッテリーカバー
- ⑩ 装着ねじ
- ⑪ Fn5 ボタン

- ⑫ フォーカスレバー
- ⑬ 端子
- ⑭ 端子カバー収納スペース
- ⑮ AC 15V 端子カバー
- ⑯ Fn4 ボタン
- ⑰ リアコマンドダイヤル
- ⑱ Fn3 ボタン
- ⑲ Q (クイックメニュー) ボタン
- ⑳ MENU/OK ボタン
- ㉑ インジケーターランプ
- ㉒ バッテリーカバーロック

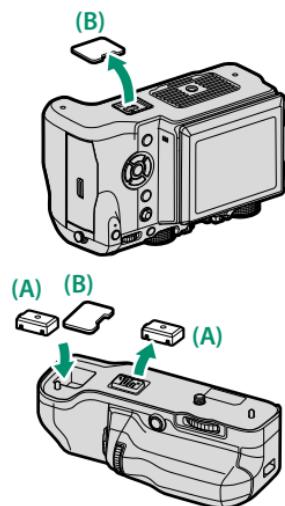
! ⑧ストラップ取り付け部とカメラ本体のストラップ取り付け部（ストラップ取り付け金具）を併せて使用しないでください。

 それぞれの機能ボタンとコマンドダイヤルはカメラ本体の操作と同じです。

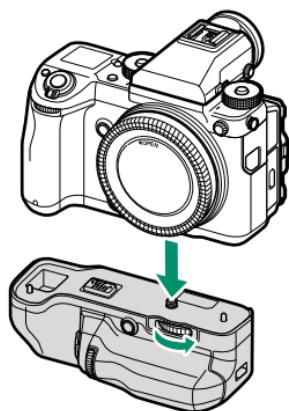
バッテリーグリップの取り付け方

- 1 バッテリーグリップの端子キャップ (A) とカメラの縦位置バッテリーグリップ用端子カバー (B) を外します。

 端子キャップとバッテリーグリップ用端子カバーは、グリップ側の収納スペースに収めることができます。

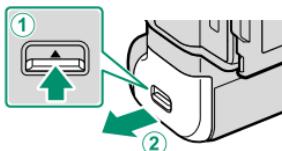


- 2 それぞれの接点が合うように装着し、着脱ダイヤルを回して、しっかりと固定します。



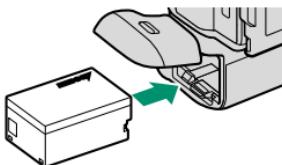
バッテリーの入れ方

- 1 バッテリーカバーロックをスライドして、バッテリーカバーを開けます。

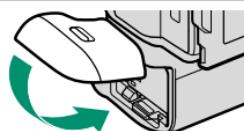


- 2 バッテリーを入れます。

!
バッテリーがロックされるまで押し込みます。



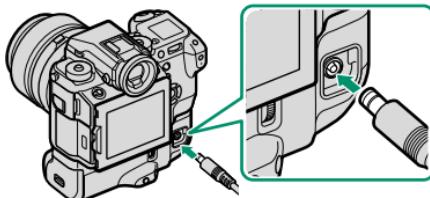
- 3 バッテリーカバーを閉めます。



!
縦位置バッテリーグリップのバッテリーが先に消費されます。グリップの電源がなくなると、カメラのバッテリーに自動的に切り換わります。動画撮影とバルブ撮影のときは、バッテリーが切り換わると撮影が終了します。グリップのバッテリー残量が少なくなったら、バッテリーを取り出して充電するか、充電済みのバッテリーに交換してください。カメラのバッテリー残量が充分にあるときは、カメラの電源がオンのままでもグリップのバッテリーを交換できます。

AC パワーアダプターについて

- AC パワーアダプター AC-15V で電源を供給することもできます。AC パワーアダプターの使用後は、カメラの電源をオフにしてから取り外してください。
- バッテリーグリップにバッテリーを入れた状態で別売の AC パワーアダプター AC-15V を AC 電源に接続すると、バッテリーを充電できます。充電時間は約 120 分です。

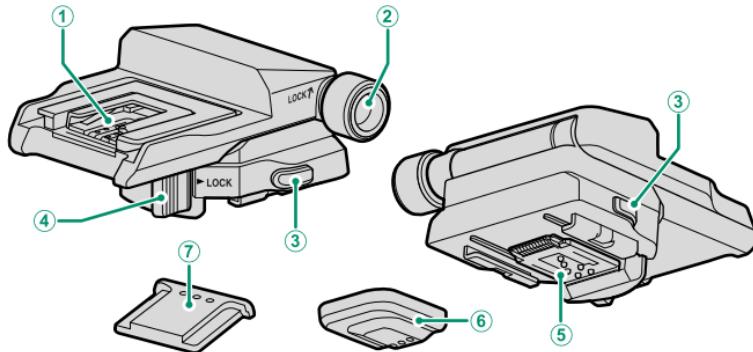


カメラの電源をオン（再生モード）にしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはバッテリーグリップのインジケーターランプでバッテリーの充電状態を示します。

電源オン時の アイコン	電源オフ時の インジケーターランプ	バッテリーの状態
■ (黄点灯)	点灯	充電中
■ (緑点灯)	消灯	充電完了
■! (赤点灯)	点滅	バッテリー異常

EVF チルトアダプター

別売のEVFチルトアダプターEVF-TL1を装着すると、ファインダーの角度を左右(±45°)、上下(0°~90°)に変更できます。



① ホットシュー

② チルトロックつまみ

③ アダプターロック解除ボタン

④ 回転ロックレバー

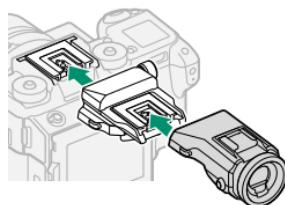
⑤ 接続端子

⑥ 端子カバー

⑦ ホットシューカバー

取り付け方

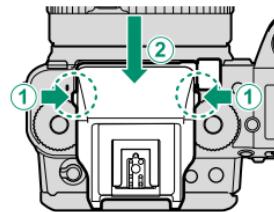
カメラに EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着して、交換式ファインダー EVF-GFX1 を装着します。



- カメラと EVF チルトアダプターのホットシューカバーと端子カバーを取り外してから装着してください。

取り外し方

交換式ファインダー EVF-GFX1 を取り外して、両方のアダプターロック解除ボタンを押しながら (①)、正面側を押さえて (②) EVF チルトアダプターを取り外します。



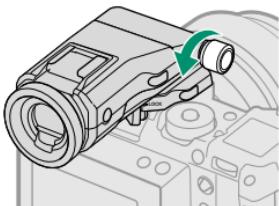
- 複数の EVF チルトアダプターを取り付けないでください。

使い方

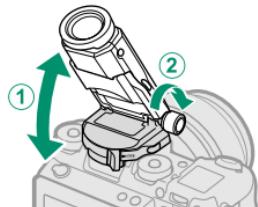
見やすい角度にファインダーを動かします。

上下の角度を変える

チルトロックつまみを緩めると、EVFの上下の角度を0°～90°で調整できます。

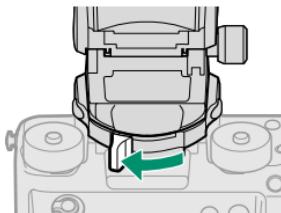


角度の調整が終わったら(①)、チルトロックつまみを締めて固定します(②)。



左右の向きを変える

回転ロックレバーを左側にスライドすると、EVFの左右の向きを±45°で調整できます。



左右の調整が終わったら(①)、回転ロックレバーを右側にスライドしてロックします(②)。



クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使うと、大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応する FP (ハイスピードシンクロ) 発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスタークラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

- !
カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

■ フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF 以外に設定します。■ フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を ON に設定する必要があります。

クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **フラッシュ設定** > **フラッシュ機能設定** を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニュー や設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	参考
シンクロ ターミナル	別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。シンクロターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューの X 接点のみを使用した撮影で使用します。	199
クリップオン フラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	200
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	203

 ホットシューに何も接続されていない場合やカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクロターミナル**の設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 **DISP/BACK**ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

シンクロターミナル

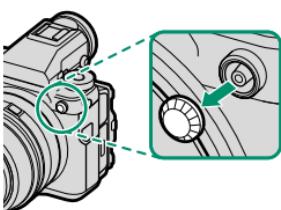
別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



設定	説明	
シンクロターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。		
① モード (発光モード)	設定	説明
	M	撮影に同期して、シンクロターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッター速度を設定してください。
② 同調モード	OFF	シンクロターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行しません。
	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
	(先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
	(後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

シンクロターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクロターミナルに接続してください。



クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを接続して、フラッシュの電源がオンのときに表示されます。



設定	説明
① モード (発光モード)	フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。
設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。
Multi	対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。
OFF	フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

設定	説明								
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 ($1/1$) から $1/512$ 発光まで、$1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、$1/4$ 発光から $1/512$ 発光まで $1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 								
③ TTL モード	<p>TTL撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (フラッシュ発光 AUTO)</td><td>被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</td></tr> <tr> <td> (スタンダード)</td><td>一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td></tr> <tr> <td> (スロー シンクロ)</td><td>夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td></tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。	 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
設定	説明								
 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。								
 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								

設定

説明

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
▲ (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
◆ (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
AUTO FP(HSS)	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。モードがMultiのときは、先幕となります。

④ 同調モード

⑤ ズーム設定

⑥ 配光設定
(配光特性)⑦ LED ライト
設定⑦ TIMES*
(発光回数)⑧ Hz*
(発光周波数)

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。AUTOの設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

設定	説明
↖ (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
↗ (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。
↗ (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。

設定	説明
👁 (キャッチライト)	キャッチライトのみ使用します。
AF (AF補助光)	AF補助光のみ使用します。
恁 (AF補助光+キャッチライト)	AF補助光とキャッチライトの両方を使用します。
OFF	どちらも使用しません。

モードがMultiのときに、1回の撮影における発光回数を設定します。

モードがMultiのときに、発光周波数を設定します。

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

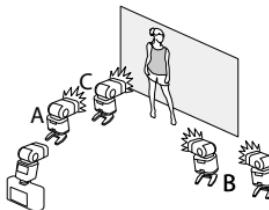
MASTER (光通信)

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスター フラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、マスター フラッシュとリモート フラッシュ間の光通信 チャンネルを CH1 ~ CH4 から設定することができます。近隣で本 フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数の フラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成する フラッシュを A、B、C の 3 つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



設定	説明													
① A グループ モード (発光モード)	<p>それぞれのグループの発光モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A、B グループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。 • C グループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。 													
② B グループ モード (発光モード)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td><td>TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。</td></tr> <tr> <td>TTL%</td><td>A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。</td></tr> <tr> <td>M</td><td>M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。</td></tr> <tr> <td>Multi</td><td>A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。</td></tr> <tr> <td>OFF</td><td>OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。</td></tr> </tbody> </table>		設定	説明	TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。	TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。	M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。	Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。	OFF	OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。
設定	説明													
TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。													
TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。													
M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。													
Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。													
OFF	OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。													
③ C グループ モード (発光モード)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 													
④ A グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 													
⑤ B グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>													
⑥ C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>													

設定	説明	
⑦ TTL モード	設定	説明
	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
	 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
⑧ 同調モード	 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
⑨ ズーム設定	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
	 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
	AUTO FP(HSS)	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。
⑩ 配光設定 (配光特性)	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。	
	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。	
	設定	説明
	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
	 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。
	 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

設定	説明											
⑪ MASTER 設定 (MASTER 発光設定)	モードが TTL 、 TTL% 、 M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Gr A</td><td>A グループに設定します。</td></tr> <tr> <td>Gr B</td><td>B グループに設定します。</td></tr> <tr> <td>Gr C</td><td>C グループに設定します。</td></tr> <tr> <td>OFF</td><td>撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。</td></tr> </tbody> </table>		設定	説明	Gr A	A グループに設定します。	Gr B	B グループに設定します。	Gr C	C グループに設定します。	OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
設定	説明											
Gr A	A グループに設定します。											
Gr B	B グループに設定します。											
Gr C	C グループに設定します。											
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。											
⑪ TIMES (発光回数)	モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。											
⑫ CH 設定	マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。											
⑫ Hz (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。											

11

他機器との接続

HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

撮影画面の出力

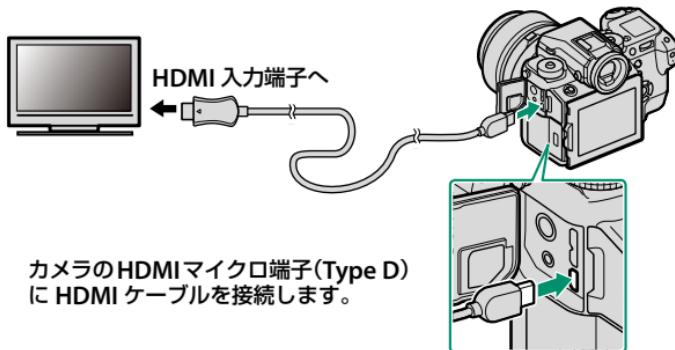
フルHD映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。

1 カメラの電源をオフにします。

2 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビを接続します。



3 テレビの入力をHDMI入力に切り替えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの電源をオンにし、**□** (再生) ボタンを押します。

カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- ・ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ・USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- ・HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ・テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。



音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線 LAN 機能で接続

カメラとスマートフォンを無線 LAN で通信できます。

無線 LAN 機能の使用方法とアプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スマートフォンと通信

■ 撮影設定または ■ 再生メニュー > ワイヤレス通信で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

USB ケーブルでパソコンと接続

USB ケーブルでパソコンに接続すると、PC 撮影機能を使用したり、メモリーカードに撮影した画像をパソコンに転送したりできます。

PC 撮影機能を使用する

Mac OS X / macOS をお使いの方

「Adobe® Photoshop® Lightroom®」と「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」または「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」をご購入いただくと PC 撮影機能を使用できます。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」は Adobe Add-ons サイトよりご購入ください。

Windows をお使いの方

「Adobe® Photoshop® Lightroom®」と「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」または「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」をご購入いただくか、「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」をご購入いただくと、PC 撮影機能を使用できます。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」は Adobe Add-ons サイトよりご購入ください。

FUJIFILM X Acquire

富士フイルムのホームページから「FUJIFILM X Acquire」をダウンロード（無償）して PC 撮影機能をご使用いただくことも可能です。

メモリーカードに撮影した画像を転送する

Mac OS X / macOSをお使いの方

Mac OS X / macOSをお使いの方は、OS標準アプリケーションの**イメージキャプチャ**などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsをお使いの方

Windowsをお使いの方は**MyFinePix Studio**を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。**MyFinePix Studio**は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

ダウンロードしたファイル「**MFPS_Setup.EXE**」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

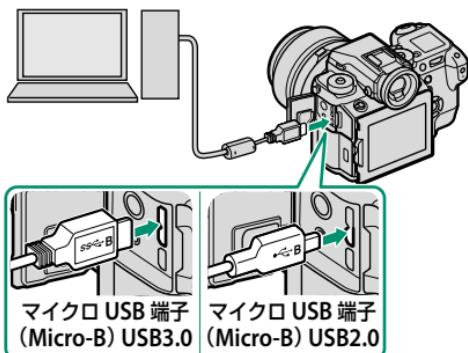
RAW画像をパソコン上で現像するには

RAW FILE CONVERTER EX 2.0を使うと、RAW画像をパソコン上で現像できます。**RAW FILE CONVERTER EX 2.0**は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

カメラとパソコンを接続する

- 1 パソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 USBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



USB3.0 と USB2.0 のどちらのケーブルも使用できます。USB3.0 に対応したパソコンをお使いの場合は、USB3.0 のケーブルを使用するとより高速で画像を転送できます。

- 4 カメラの電源をオンにします。
- 5 パソコンにインストールしたアプリケーションでPC撮影または画像を取り込みます。
 - **PC撮影機能をご使用の場合**：「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」などでPC撮影を行ってください。
 - **画像転送機能をご使用の場合**：MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
- 6 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてからUSBケーブルを外します。



- USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- 画像転送機能を使用中にメモリーカードを交換するときは、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

instax SHARE プリンターと接続

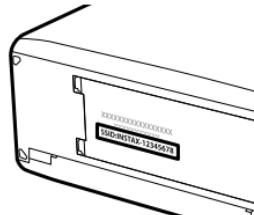
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

□ 接続設定 > **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2 回 再生メニュー>instaxプリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



 連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 プリントしたい画像を選び、MENU/OKボタンを押します。



 • 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
• プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

12

資料

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリーを使用できます。最新情報については、<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-T125：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。



バッテリーチャージャー BC-T125：充電式バッテリー NP-T125 を充電します (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。



AC パワーアダプター AC-15V：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。カメラ本体および縦位置バッテリーグリップ内のバッテリーを充電することもできます。



リモートレリーズ RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。



ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。



GF シリーズレンズ：FUJIFILM G マウント専用の交換レンズです。



縦位置バッテリーグリップ VG-GFX1：装着することで縦位置での撮影がしやすくなります。また、バッテリー容量を増やすことができます。別売の AC パワーアダプター AC15V を使用すると、電源の供給とバッテリーの充電が可能になります。



EVF チルトアダプター EVF-TL1：装着することでファインダーの角度を左右 (± 45°)、上下 (0°～90°) に変更できます。



クリップオンフラッシュ EF-X500：ガイドナンバー最大 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光に対応しています。また、富士フィルム光通信多灯システムのマスターフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。TTL 自動調光機能、マニュアル発光機能、24 ~ 105 mm (35 mm フィルム換算) のオートズーム機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、下 10°、左 135°、右 180° です。単三電池 4 本を使用し、別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。



クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ~ 105 mm (35 mm フィルム換算) のオートズーム機能、マニュアル発光機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120° です。単三電池 4 本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。単四電池 2 本を使用した小型、軽量なフラッシュで、TTL 調光補正、マニュアル発光強度をダイアルで設定できます。



クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能のみを搭載しており、マニュアル発光には対応していません。バウンス角度は上 90° です。単三電池 2 本を使用します。



ボディキャップ BCP-002：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

instax SHARE プリンター SP-1/SP2：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

MEMO

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

 電源プラグを抜く 煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。

 水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

分解禁止 火災・感電の原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

接触禁止 感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

▲警告

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

移動中の使用はしない。



歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ $+$ $-$ ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・ヤケドの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、



失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などを使いください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合

- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

△警告

電源を入れたまま長時間、身体の同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。



・長時間ご使用になる場合

・気温の高い環境でご使用になる場合

・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。



誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。

飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。



本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

△注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。



火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

▲注意

 AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

 本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。

 お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。

 充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

電源プラグを抜く コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

 メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。

 本製品の内部にはこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- 2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- ・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- ・寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

・付属の充電器を使用して充電できます。

　- 充電は周囲の温度が +5°C～+40°C の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。

　- +10°C～+35°C の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は +10°C～+35°C の温度範囲で行ってください。

・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります、異常ではありません。

・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が+15°C～+25°Cくらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

① 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気につづけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- ・ 室内専用です。
- ・ DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・ DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ・ AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- ・ 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・ 分解したりしないでください。危険です。
- ・ 高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・ 落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・ 内部で発振音がすることがあります、異常ではありません。
- ・ ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フィルム（株）の商標または登録商標です。
- ・、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は、富士フィルム（株）の商標です。
- ・DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- ・Macintosh、Mac OS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop ならびに Lightroom は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- ・Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- ・HDMI ロゴは商標です。
- ・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- ・極端に寒いところ
- ・振動の激しいところ
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れるとき、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

△ 警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂・シャワー
室での使用禁止
火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

火災・感電の原因になります。

 **分解禁止**
また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

 **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

 **接触禁止**
• 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれたり倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽をみない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

- 🚫 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。
- 🚫 異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かない。
ケガの原因になることがあります。
- 🚫 濡れた手で触らない。
感電の原因になることがあります。
- ⚠ 逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。
太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
- ⚠ 使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。
太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
- 🚫 三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。
転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

重要！本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

（！） 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。



本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

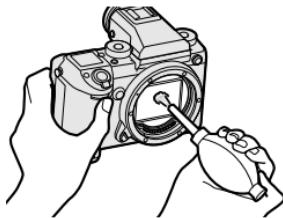
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはプロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **■ 基本設定 > センサークリーニング**で行えます。センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、プロアーブラシでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ 基本設定 > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、プロアーでほこりを取り除いてください。

!
クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの(交換)修理は有償(高額)となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをプロアー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

!
・プロアーはブラシの付いていないものを使用してください。プロアーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
・取り除けていない場合は、再度プロアーでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種のファームウェア更新情報をご覧ください。

http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/fw_table.html

ファームウェアバージョンの確認方法

- ① バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

1 カメラの電源をオフにします。

メモリーカードが入っていることを確認します。

2 DISP/BACKボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。

3 バージョンの確認ができたら、電源をオフにしてください。

- ④ 交換レンズのファームウェアバージョンを確認する場合は、カメラボディにレンズを装着して確認します。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	ここをチェック!	処置	書
ON/OFF (電源) レバー を ON に合わせても 電源がオンになら ません。	バッテリーが消耗していま せんか? バッテリーを正しい向きで 入れていますか? バッテリーカバーはきちんと 閉まっていますか?	充電済みのバッテリーを 使ってください。 バッテリーを正しい方向で 入れ直してください。 バッテリーカバーをしっかり 閉めてください。	27 30
ON/OFF (電源) レバー をオフにしたあとに 素早くオンにしても 液晶モニターが点灯 しません。	—	シャッターボタンを半押し してください。	—
バッテリー、 電源につい て	非常に寒いところでカメラ を使っていませんか? バッテリーの端子が汚れて いませんか? プリ AF を ON に設定して いませんか? 同じバッテリーを長時間 使っていませんか?	バッテリーをポケットなど で温めておいて、撮影の直 前に取り付けてください。 バッテリーの端子部分を乾 いたきれいな布で拭いてく ださい。 プリ AF を ON で撮影する と、バッテリーの消耗が早 くなります。 バッテリーの寿命の可能 性があります。新品のバッテ リーと交換してください。	— — 99 —
使用中に電源がオフにな ってしまいました。	バッテリー残量が少なくな っていませんか?	充電済みのバッテリーを 使ってください。	27

症状	ここをチェック！	処置	回
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。 27 30
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなることがあります。
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。 30
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。 218 264

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	回
メニューが日本語以外で表示されています。	言語/LANG. が日本語以外の言語になっていますか？	言語設定を日本語にしてください。	38 148

撮影時

症状	ここをチェック!	処置	■
基本撮影について	シャッター <button>ボタン</button> を押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になつていませんか?	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。 32 129
		メモリーカードはフォーマットされていますか?	カメラでフォーマットしてください。 146
		メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れていませんか?	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。 —
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。 32
		バッテリー残量が少なくなっていますか?	充電済みのバッテリーを使ってください。 27
		電源がオフになっていますか?	電源をオンにしてください。 35
		他社製のマウントアダプターを使用していますか?	レンズなしレリーズをONにしてください。 165
		被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか?	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。 —
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか?	AE/AFロック撮影してください。 78

症状	ここをチェック！	処置	回
顔検出について	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	100
	撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
	人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
	カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	
	人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されるているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るよう構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずにAF/AEロック撮影してください。	78
	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	
	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	
	フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	
フラッシュについて	高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。	54
			60
			254

症状	ここをチェック!	処置	書
撮影した画像の異常について	レンズに指紋などの汚れがついていませんか?	レンズを清掃してください。	189
	レンズに指などがかかっていますか?	レンズに指がかかるないようにしてください。	41
	撮影時にAFフレーム(赤点灯)と!AFが表示されていますか?	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	42
画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター(長時間露光)撮影しませんでしたか?	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。 ピクセルマッピング を実行してください。	95
画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていますか?	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	35
	温度警告が表示されていませんでしたか?		251

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	回
1 コマ 再生につ いて	画像が粗く表示され ます。	他のカメラで記録した画像 ではありませんか？	他のカメラで記録した画像 はきれいに表示できないこ とがあります。	—
	拡大表示できま せん。	リサイズした画像ではあり ませんか？	リサイズした画像は、再生 ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像 ではありませんか？	他のカメラで記録した画像 は再生ズームができないこ とがあります。	—
動 画 再生につ いて	カメラから音が出ま せん。	カメラの再生音量の設 定が小さくなっています か？	再生音量を調節してく ださい。	152
		動画撮影時にマイクを手な どでふさいでいませんでし たか？	動画撮影時はマイクをふさ がないでください。	—
		再生中にスピーカーを手 などでふさいでいません か？	再生中はスピーカーをふさ がないでください。	—
消 去 につ いて	選択した画像を消去で きません。	プロテクトされていま せんか？	プロテクトを解除してく ださい。プロテクトを解除 するときは、プロテクトを 行ったカメラをお使いく ださい。	133
	全コマ消去したのに画 像が残っています。			
コ マ ナ ン バ ー につ いて	コマ NO. の連番が機能 しません。	バッテリーやメモリー カードを交換するときに 電源を切らずにバッテ リーカバーを開けませ んでしたか？	バッテリーやメモリー カードを交換するときは、 必ず電源をオフにしてく ださい。電源を切らずにバッ テリーカバーを開けると、 コマ NO. の連番が機能し ないことがあります。	169

接続時

状況	ここをチェック!	処置	目次
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか?	16 208
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	VIEW MODE ボタンによる切り替えが EVF ONLY +  になっていませんか?	
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか? テレビの入力が「テレビ」になっていませんか? テレビの音量が小さくなっていますか?	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか?	211
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか?	

無線 LAN 通信

症状	ここをチェック!	処置	回
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンとの距離が離れていませんか?	スマートフォンを近づけてご使用ください。	
スマートフォンとの接続/送信に時間がかかります。画像送信が途中で失敗/切断します。	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか?	それらの機器から離れてご使用ください。	210
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか?	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は1台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか?	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	210
	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか?	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	ワイヤレス設定のスマートフォン送信時 圧縮 を OFF に設定していませんか?	スマートフォン送信時 圧縮 を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	172

その他

症状	ここをチェック!	処置	回
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	30 バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してください。
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	27 充電済みのバッテリーを使ってください。
		無線 LAN に接続していますか?	— 無線 LAN を解除してください。
		ボタンロックをしていませんか?	5 MENU/OK ボタンを長押してください、ロックを解除してください。
		PC 撮影機能を使用していませんか?	174 PC 撮影機能でパソコンから操作するモードになっているときは、カメラのボタンなどは操作できません。カメラ側から操作するモードに設定してください。
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	30 264 バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
音について	音がません。	音設定で消音に設定していませんか?	151 各設定の音量を調整してください。
EVFについて	EVF が表示しません。	EVF を正しく装着しましたか?	11 EVF を「カチッ」と音(感触)がするまで押し込み、装着してください。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
■ (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
■ (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">電源を入れ直してください。電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとした。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、コマ NO. を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。コマ NO. を連番に戻すと、引き続き撮影できます。
	正常に記録されていないファイルを再生しようとした。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとした。	このファイルは再生できません。
再生できません	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとした。 プロテクトされているファイルを回転しようとした。 	プロテクトしたファイルは消去/回転できません。プロテクトを解除してください。

警告表示	警告内容	処置
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしたしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしたしました。	プリント予約できません。
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしたしました。	回転できません。
実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしたしました。	—
実行できません	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
! (黄)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下する場合があります。また、動画撮影はできません。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
! (赤)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下する場合があります。また、動画撮影はできません。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード	記録媒体	SD メモリーカード					
		8GB			16GB		
画質	SUPER FINE	FINE	NORMAL	SUPER FINE	FINE	NORMAL	
静止画	4:3	254	381	607	524	785	1253
	RAW (非圧縮)		66			137	
	RAW (ロスレス圧縮)		127			265	
動画*	FHD 1080/29.97P, 25P, 24P, 23.98P		26 分			54 分	
	HD 720/29.97P, 25P, 24P, 23.98P		51 分			105 分	

* 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 1 以上のメモリーカードをご使用ください。
連続して記録する場合、約 30 分で自動的に撮影を停止します。

- ① 動画を連続して撮影した場合、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能ですが、動画ファイルは分割して保存されるため、それぞれのファイルごとに再生が必要です。

主な仕様

システム

製品名	FUJIFILM GFX 50S	
製品型番	FF160005	
有効画素数	約 5140 万画素	
撮像素子	43.8mm × 32.9mm BA、原色フィルター採用	
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)	
メモリーカードスロット	SD カード × 2 (UHS-II 対応)	
記録方式	<ul style="list-style-type: none">静止画 : DCF 準拠圧縮 : Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 /DPOF 対応非圧縮 / ロスレス圧縮 : RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり、TIFF (RGB)動画 : H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き音声 (ボイスメモ) : ステレオ (WAVE)	
記録画素数	L 4:3 (8256 × 6192) L 3:2 (8256 × 5504) L 16:9 (8256 × 4640) L 1:1 (6192 × 6192) L 65:24 (8256 × 3048) L 5:4 (7744 × 6192) L 7:6 (7232 × 6192) RAW (8256 × 6192)	S 4:3 (4000 × 3000) S 3:2 (4000 × 2664) S 16:9 (4000 × 2248) S 1:1 (2992 × 2992) S 65:24 (4000 × 1480) S 5:4 (3744 × 3000) S 7:6 (3504 × 3000) TIFF (8256 × 6192)
レンズマウント	FUJIFILM G マウント	
撮影感度	<ul style="list-style-type: none">静止画 : ISO 100 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 50, 25600, 51200, 102400 は拡張モード動画 : ISO 200 ~ 6400 (1/3 段ステップ)	
測光方式	<ul style="list-style-type: none">TTL256分割測光マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点	
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル	
露出補正	<ul style="list-style-type: none">静止画 : -5EV ~ +5EV (1/3 段ステップ)動画 : -2EV ~ +2EV (1/3 段ステップ)	

システム

シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> メカニカルシャッター／電子先幕シャッター <ul style="list-style-type: none"> P モード時：4 秒～ $1/4000$ 秒 全モード合わせて：60 分～ $1/4000$ 秒 タイム：60 分～ $1/4000$ 秒 バルブ：最長 60 分 電子シャッター／メカニカル+電子／電子先幕+電子 <ul style="list-style-type: none"> P モード時：4 秒～ $1/16000$ 秒 全モード合わせて：60 分～ $1/16000$ 秒 タイム：60 分～ $1/16000$ 秒 バルブ：最長 60 分
連写	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な連写速度（コマ／秒 [fps]）JPEG：3.0） 連続記録枚数：約 25 枚 <p>（？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ご使用のメモリーカードによって異なります。 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> モード：シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式） AF 方式：TTL コントラスト AF AF フレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング
ホワイトバランス	AUTO、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	OFF、2 秒、10 秒
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> モード：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、マルチ、OFF 同調モード：先幕、後幕、AUTO FP（ハイスピードシンクロ） 赤目補正：赤目抑制発光+補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF
ホットシュー	あり（TTL フラッシュ対応）、同調シャッタースピード $1/125$ 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/125$ 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー（EVF）	交換式ファインダー EVF-GFX1（付属）
液晶モニター（LCD）	<ul style="list-style-type: none"> 背面：3.2 型カラー液晶モニター、約 236 万ドット、3 方向チルト式、タッチパネル付き 天面：1.28 型 memory LCD、128 × 128 ドット

システム	
動画 (ステレオ音声付き)	<ul style="list-style-type: none">  1080/29.97P  1080/25P  1080/24P  1080/23.98P
	 720/29.97P
	 720/25P
	 720/24P
	 720/23.98P

入出力端子	
マイク入力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
ヘッドホン出力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB3.0 High-Speed
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
リモートリリーズ端子	φ 2.5 mm 3 極ミニジャック
DC 入力端子	あり

電源部、その他

電源	<ul style="list-style-type: none"> 充電式バッテリー NP-T125 (付属) AC アダプター AC-15V (別売) 		
バッテリー作動可能枚数 / 時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの種類：NP-T125 GF63mmF2.8 R WR 使用時、P モード時 		
通常時の静止画撮影枚数			
オートパワーセーブ	LCD	EVF	
ON	約 400 枚	約 400 枚	
OFF	約 340 枚	約 340 枚	
バッテリーグリップ装着時の静止画撮影枚数			
オートパワーセーブ	LCD	EVF	
ON	約 800 枚	約 800 枚	
OFF	約 660 枚	約 660 枚	
1 回の充電で撮影できる合計動画時間			
画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命	
HDMI	約 145 分	約 70 分	
<p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数や時間の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時では、バッテリー作動可能枚数は少くなり、時間は短くなります。 			
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	147.5 mm × 94.2 mm × 91.4 (41.6*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記		
撮影時質量	約 825 g (付属バッテリー、メモリーカード含む)		
本体質量	約 740 g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)		
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> 温度：-10°C～+40°C (バッテリー充電時：+5°C～+40°C) 湿度：10%～80% (結露しないこと) 		

ワイヤレス転送部

準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz～2462 MHz (11ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

交換式ファインダー EVF-GFX1

種類	有機 EL
サイズ	0.5 型
画素数	約 369 万ドット
光学倍率	0.85 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m^{-1})
対角視野	約 40 度 (水平視野 約 33 度)
視度調節	$-4\text{m}^{-1} \sim +2\text{m}^{-1}$ (dpt)
アイポイント	約 23 mm
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	53.6mm × 36.4mm × 80.1mm
質量	約 95 g

バッテリー NP-T125

公称電圧	10.8V
公称容量	1250mAh
使用温度	-10°C ~ +40°C
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.0mm × 54.4mm × 26.0mm
質量	約 81 g

バッテリーチャージャー BC-T125

定格入力	AC 100V ~ 240V 50/60Hz
入力容量	23 ~ 31VA
定格出力	DC 12.6V 800mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-T125
充電時間	約 140 分 (+25°Cにおいて)
使用温度	+5°C ~ +40°C
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	71.4mm × 97.0mm × 34.2mm (突起物を除く)
質量	約 120 g

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

! 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【A～Z】

- A** (オート)、75
A (絞り優先撮影)、58
AE/AF-LOCK 設定、165
AE/AF ロック、78
AE-L (AE ロック) ボタン、79
AE ブラケティング、80
AE ブラケティング設定、106
AE ロック、79
AF-ON、163, 183
AF-L (AF ロック) ボタン、79
AF+MF、101
AF (オートフォーカス)、62
AF 警告、8
AF 合焦音量、151
AF ロック、78
AF スピードアップ、98
AF ポイント表示、98
AF モード、65, 97
B (パルブ撮影)、56
C (AF-C)、63, 66, 102
CH 設定、115
DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、17, 121
DPOF 指定、141
EVF (ファインダー)、12, 16
EVF 明るさ、16, 153
EVF 鮮やかさ、16, 153
EVF チルトアダプター、10, 194
Fn (ファンクション) ボタン、180
FUJIFILM Camera Remote、112, 138, 210
FUJIFILM instax SHARE、142, 173, 215
HDMI、117, 208
HDMI ケーブル、208
HDMI 出力情報表示、117
HDMI レックコントロール、117
instax プリンター接続設定、173, 215
instax プリンタープリント、142, 216
ISO 感度変更、74

- ISO ブラケティング、80
LCD (液晶モニター)、9, 14, 16
LCD 明るさ、16, 153
LCD 鮮やかさ、16, 153
LED ライト設定、114
MASTER 設定、115
MASTER (光通信)、203
MENU/OK ボタン、22, 86, 126, 146
MF アシスト、101
MyFinePix Studio、139, 212
M (マニュアルフォーカス)、71
P (プログラム撮影)、40, 52
P, S, A, M 撮影、52
PC 撮影モード、174
PC 接続設定、173
Q (クイックメニュー) ボタン、177
RAW FILE CONVERTER EX 2.0、212
RAW 画像、87
RAW 記録方式、87
RAW 現像、127
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、34
S (シャッタースピード優先撮影)、54
S (AF-S)、63, 65, 102
T (タイム撮影)、55
TTL-LOCK、114, 163, 183
TTL-LOCK モード、114
USB ケーブル、211
WB シフト、90

[あ]

- アイカップ、11
アイセンサー、16
赤目補正、113, 135, 197
アフターサービス（修理）、264
アベレージ（測光）、76, 107
後幕（フラッシュ）、199, 202, 205
位置情報設定、173
色温度、92
色空間、94, 128
インジケーターランプ、8, 29, 193
インターバルタイマー撮影、105
液晶モニター（LCD）、9, 18
オートパワーオフ（自動電源 OFF）、167
オートフォーカス（AF）撮影、62
オート（ISO）/A（オート）、109
オート（A）設定、75
オプション品（別売アクセサリー）、218
お手入れについて、236
オートパワーセーブ、168
音設定（セットアップメニュー）、151

[か]

- カードスロット設定（静止画記録）、170
海外で使うとき、230
外部フラッシュ（別売クリップオンフラッシュ）、197
外部マイク、47, 117
顔検出/瞳 AF 設定、100
拡大表示、69, 73
画質設定（撮影メニュー）、86
画質モード、87
カスタム選択、95
カスタム登録（編集）、96
カスタムホワイトバランス、91
画像回転、134
画像コピー、137
画像サイズ、86
画面のカスタマイズ、19, 158
カラー、93
カラークローム・エフェクト、89

感度（ISO 感度）、74

- 感度 AUTO 設定、109
感度ダイヤル、5, 74
基準 ISO 感度、75, 109
基本設定（セットアップメニュー）、146
距離指標、73, 157
記録画素数、253
クイックメニュー（Q メニュー）ボタン、161, 177, 179
クイックメニュー（Q メニュー）登録/編集、161, 179
クイックメニュー（Q メニュー）割り当て変更、179
クリップオンフラッシュ、197, 198, 200, 219
グレイン・エフェクト、89
ケーブルプロテクター、4
減感（増感/減感）、128
言語、38, 148
交換レンズ、26, 188
工場出荷時（リセット）、150
合焦マーク、64
コマ NO.（コマナンバー）、169
コマンドダイヤル、6
コマンドダイヤル設定、164
コンティニュアス AF（C）、63

[さ]

- 再生音量、152
再生時の表示画面、120
再生ズーム、124
再生方法、123
再生メニュー、v, 126
先幕（フラッシュ）、199, 202, 205
撮影画像表示、154
撮影時の表示画面、12
撮影スタンバイモード、167
撮影設定（撮影メニュー）、104
撮影メニュー、iv, 85
サブ液晶モニター設定、21, 159
自動電源 OFF（オートパワーオフ）、167

視度調節ダイヤル、11
絞り優先（A）撮影、58
シャープネス、93
シャッター音、152
シャッター音量、152
シャッタースピード、5, 254
シャッタースピードダイヤル／感度ダイヤル、5
シャッタースピード優先、54
シャッター選択、110
シャッター方式、108
シャドウトーン、93
消去、44, 129
上限 ISO 感度、75, 109
消費電力設定（セットアップメニュー）、
167
情報表示の切り替え、17, 121
ショートカット機能、176
初期設定、37
処理前画像記録、170
シングル AF（S）、63
シングルポイント（AF モード）、65, 66, 97
シンクロターミナル、197, 198, 199
スタンダード画面、19
ズームリング、41
ストラップ、24
スポット（測光）、76, 107
スマートフォン、138, 210
スローシンクロ、201, 205
スロット切り替え、126, 170
静止画（再生）、43
静止画（プログラム撮影）、40
世界時計、147
接続設定（セットアップメニュー）、172
セットアップメニュー、vi, 145
セルフタイマー、104
セルフタイマー音量、151
セルフタイマー設定保持、104
セレクターボタン、5
セレクターボタン設定、164

センサークリーニング、149, 236
操作音量、151
操作ボタン・ダイヤル設定（セットアップ
メニュー）、160
増感（増感／減感）、128
ゾーン（AF モード）、65, 66, 97
測光、107
測光モード、76
測光＆フォーカスエリア連動、102
【た】
ダイナミックレンジ、89
ダイナミックレンジブレケティング、81
タイム撮影（T）、55
多重露出撮影、83
タッチパネル、70, 125
タッチパネル設定、166
タッチパネルモード、103
縦位置バッテリーグリップ、190
縦表示、13
縦／横位置 AF モード切替、98
縦横自動回転再生、157
縦横自動回転表示、13, 154
中央部重点（測光）、76, 107
長秒時ノイズ低減、94
著作権情報、171
低速シャッター限界、75, 109
デジカメプリント、141
テレビ接続（HDMI 出力）、208
電源、35
電子先幕シャッター（シャッター方式）、
108
電子シャッター（シャッター方式）、108
電子水準器、20
点像復元処理、94
動画 AF モード、116
動画記録先、171
動画再生、49
動画撮影、46
動画設定（撮影メニュー）、48, 116
動画モード、116

- ドライブダイヤル、7
トリミング、131
- 【な】**
長押し (DISP/BACK ボタン)、182
長押し (MENU/OK ボタン)、5, 13, 15
長押し (Q ボタン)、179
長押し (ゴミ箱ボタン)、146
長押し (再生ボタン)、43, 126
長押し (リアコマンドダイヤル中央)、6, 73
2画面表示、18
日時設定 / 日時変更、38, 147
ノイズリダクション、94
- 【は】**
バージョンアップの確認方法、238
ハイスピードシンクロ (FP)、202, 205
ハイライトトーン、93
パソコン接続、211
発光モード、199, 200, 204
バッテリー、27, 30, 36, 190
バッテリー劣化度、149
バルブ撮影 (B)、56
半押し AF、164
半押し AE、165
光通信 (MASTER)、203
ピクセルマッピング、95
被写界深度確認、59
被写界深度スケール、103
ヒストグラム表示、20
表示設定 (セットアップメニュー)、153
表示比率、143
標準撮影枚数 / 記録時間、252
ピントの確認、73
ファイル名編集、170
ファンクション (Fn) 設定、162
ファンクション (Fn) ボタン、180
フィルムシミュレーション、88
フィルムシミュレーション BKT、80, 106
フォーカス位置拡大、101
フォーカスエリア、67, 68, 97
- フォーカスエリア選択、67, 97
フォーカス設定 (撮影メニュー)、97
フォーカスチェック、69, 102
フォーカス点数切り替え、99
フォーカスピーキング、73, 101
フォーカスマード、63
フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、103
フォーカスリング、165
フォーカスレバー、5, 160
フォーマット (初期化)、146
フォトブックアシスト、139
ブラケティング撮影、80
フラッシュ設定 (撮影メニュー)、113
フラッシュ機能設定、113
ブリ AF、99
プリント予約 (DPOF)、141
フレーミングガイド、156
ブレ防止モード、109
プログラム (P) 撮影、40, 52
プログラムシフト、53
プロテクト、133
フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、6
別売アクセサリー、218
ヘッドホン、152
ボイスメモ設定、136
保存設定 (セットアップメニュー)、169
ボタンロック、5, 166
ホワイトバランス、90
ホワイトバランスブラケティング、81
- 【ま】**
マイクロレベル設定、117
マイクロ USB 端子、57, 213
マイメニュー (マイメニュー設定)、148, 184
マウントアダプター設定、110
マニュアル (M) 撮影、60
マニュアル時モニター露出 /WB 反映、155
マニュアルフォーカス (M)、71

マルチ再生、124
マルチ（測光）、76, 107
無線 LAN、210
銘板プレート、4
メカニカルシャッター（シャッター方式）、
108
メモリーカード、32, 33
モニター撮影効果反映、155

【ら】

リアコマンドダイヤル（コマンドダイヤル）、
6
リサイズ、132
リセット、150
リモートレリーズ、57
レリーズ優先（レリーズ優先 / フォーカス
優先）、103
連写（連続撮影）、82
レンズ（取付）、26
レンズ（交換レンズ）、188
レンズキャップ、189
レンズフード、189
レンズなしレリーズ、165
レンズ登録、110
露出補正、77
露出補正ボタン設定、166
ロスレス圧縮、87
ロック、166

【わ】

ワイド / ト racking (AF モード)、65,
66, 97
ワイヤレス設定、172
ワイヤレス通信、112, 138
ワンプッシュ AF 時の動作、102

■ ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先にFAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？

トラブルが発生する直前の操作は？

カメラの状態は？

トラブルが発生する頻度は？

- ご使用のPC機種名、OSバージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX 番号	
ご住所	〒 -		
製品名（型名）	ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底 面に記載してある8桁 の番号です。 修理お問い合わせ時に ご連絡ください。		NO.
修理品への添付	<input type="checkbox"/> 保証書 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> メモリーカード <input type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> バッテリー <input type="checkbox"/>)
見積	<input type="checkbox"/> 要（修理金額	円以上見積り）	<input type="checkbox"/> 不要
見積連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> FAX	
故障症状 (故障時の様子)			
ご購入時期	20 年 月 ※保証書を添付してください。		
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再依頼（ <input type="checkbox"/> 同一症状 <input type="checkbox"/> 別症状）		
発生 状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 開始時のみ <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々（ 日に 回）	
	動作モード	<input type="checkbox"/> 再生時 <input type="checkbox"/> 撮影時 <input type="checkbox"/> ショックを与えると	
	他機との接続	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（接続機 ）	
	使用電源		

- 本製品に関するお問い合わせは… ※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30/土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

- 本製品の関連情報は… ※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

- 修理の受付は… ※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30/土曜日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1040

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL: 050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも【FinePixクイックリペアサービス】

お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にてご確認・お問い合わせください。

- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711

(月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

